

Panasonic®

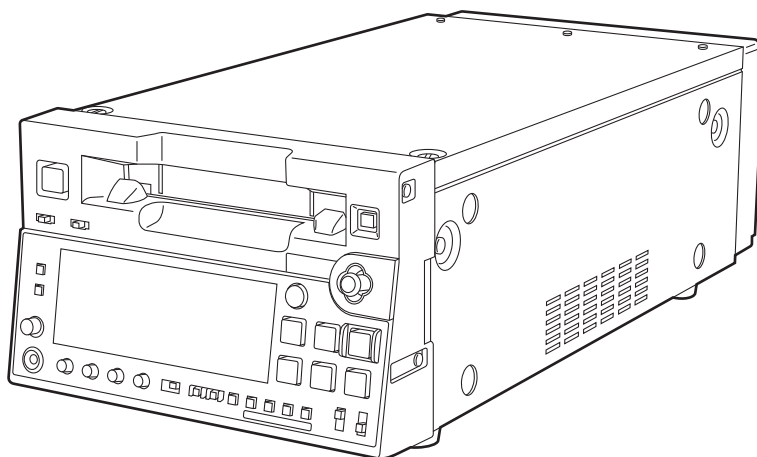
取扱説明書

デジタル HD ビデオカセットレコーダー

品番 **AJ-HD1400**

DVCPRO HD

EX



このたびは、“パナソニック製品”をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～5ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。



目次

安全上のご注意.....	3	セットアップ (初期設定).....	27
電源プラグの接地に関するご注意.....	5	オンスクリーンメニューでの設定方法.....	27
概要.....	6	工場出荷時の設定値への戻し方.....	27
特長.....	6	ユーザーデフォルトの設定方法.....	28
各部の名称と機能.....	9	ユーザーデフォルトのロード方法.....	29
フロントパネル (1).....	9	メニューのプロテクト方法.....	30
フロントパネル (2).....	10	メニューのプロテクト解除方法.....	30
フロントパネル (3).....	11	システム周波数の切り替え.....	31
表示パネル.....	12	システム周波数の切り替え手順.....	31
リアパネル.....	14	セットアップメニュー.....	32
リファレンス信号について.....	16	表示されるメニューについて.....	32
リファレンスの周波数について.....	17	SYSTEM.....	36
テープについて.....	18	BASIC.....	37
接続.....	19	テープ再生時のフォーマットについて.....	39
編集コントローラーとの接続例.....	19	OPERATION.....	40
IEEE1394 デジタル		INTERFACE.....	43
インターフェース.....	20	EDIT.....	44
本機の設定.....	20	TAPE PROTECT.....	45
使用上のご注意.....	20	TIME CODE.....	45
VANC データの記録／再生.....	21	VIDEO.....	47
VANC データの記録.....	21	AUDIO.....	51
VANC データの再生.....	21	DIF.....	53
サーチスティック・可変速再生.....	22	MENU.....	54
サーチスティック.....	22	タイムコード / ユーザーズビットに	
可変速再生.....	22	ついて.....	55
PF (Programmable Function)		本機で記録するタイムコード.....	56
機能.....	23	スーパーインポーズ画面.....	57
PF ボタンへの登録.....	23	ビデオヘッドクリーニング.....	58
PF ボタンでの操作.....	23	結露.....	58
一時停止 / 記録 (つなぎ撮り).....	24	お手入れについて.....	58
キューアップ.....	24	エラーメッセージ.....	59
リピート再生.....	25	ダイアグメニュー.....	59
BEGIN 点、END 点の設定.....	25	ダイアグメニューの表示.....	59
リピート再生モードの設定.....	25	アワーメータ情報の表示.....	59
バリアブルフレームレートカメラからの		UMID 情報の表示.....	60
記録.....	26	ワーニング情報の表示.....	61
バリアブルフレームレートカメラの		エラーメッセージ.....	62
HD SDI 出力信号を記録.....	26	EMERGENCY イジェクト.....	64
フィールドのズレ.....	26	保証とアフターサービス.....	65
		定 格.....	66




安全上のご注意 ■必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。







- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告








<p>電源プラグは、根元まで確実に差し込む</p> <p> 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。</p>	<p>電源プラグのほこりなどは、定期的にとる</p> <p> プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。 	<p>電源コード・プラグが破損するようなことはしない(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)</p> <p> 傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
<p>内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない</p> <p> ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●機器の上や近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。 	<p>指定のカバー以外は外さない</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。 	<p>不安定な場所に置かない</p> <p> 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。</p>

安全上のご注意

■必ずお守りください






警告

<p>水場で使用しない</p>  <p>火災や感電の原因になります。</p> <p>水場 使用禁止</p>	<p>異常があったときは、電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none">● 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき● 落下などで外装ケースが破損したとき● 煙や異臭、異音などが出たとき  <p>そのまま使うと、火災・感電の原因になります。</p>	
<p>ぬれた手で電源プラグやコネクターに触れない</p>  <p>感電の原因になります。</p> <p>ぬれ手禁止</p>	<p>電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none">● 本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。● 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。● 販売店に相談してください。	
<p>付属品・オプションは、指定の製品を使用する</p>  <p>本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。</p>	<p>分解や改造をしない</p>  <p>内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。</p> <p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none">● 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。	<p>コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流 100 V～240 V 以外での使用はしない</p>  <p>たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。</p>
<p>雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない</p>  <p>感電の原因になります。</p> <p>接触禁止</p>		



注意

<p>長期間使用しないときや、お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く</p>  <p>火災や感電の原因になります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p>油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない</p>  <p>電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。</p>	<p>直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない</p>  <p>特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60℃以上）になります。本機やカセット、バッテリー、ACアダプターなどを絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。</p>
---	--	---

安全上のご注意

■必ずお守りください

⚠ 注意

カセットテープ挿入口に、指をはさまれないように注意する



けがをする恐れがあります。

指に注意

1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談をする



本機の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因になります。

本機の放熱を妨げない

●押し入れや本箱など、狭いところに入れないでください

●テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください

●通風孔やファンがある場合は、ふさがないようにしてください

●横倒し、逆さまにしないでください



内部に熱がこもり、火災の原因になります。

電源プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない



コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

●必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない



●落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。

●重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。

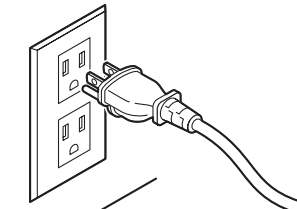
コードを接続した状態で移動しない



コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、コードが引っかかって、けがの原因になります。

電源プラグの接地に関するご注意

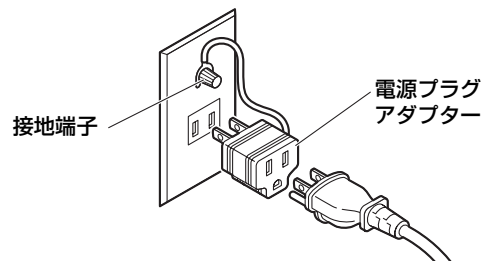
●本機に付属されている電源コードは、接地端子を備えた3ピンのコンセントに接続してください。



海外で使用する場合は、その国に合った接地端子付電源コードを準備してください。本機に付属している電源プラグアダプターを、さらに変換して使用しないでください。

●2ピンのコンセントを使用する場合は、付属の電源プラグアダプターを取り付け、必ず、接地端子にアース線を接続してください。

アース線を接続するときは、必ず、電源コードを電源プラグアダプターに差し込む前に、行ってください。また、アース線を外すときは、必ず、電源コードを電源プラグアダプターから抜いた後に、行ってください。



●本機に付属されている電源プラグアダプターを、他の機器には、絶対に使用しないでください。

概要

本機は、1/4インチ幅の小型カセットテープを使用し、HD信号（1080i/59.94Hz、1080i/50Hz、720P/59.94Hz、720P/50Hz）をDVCPRO HD-LP*フォーマットとして記録/再生ができ、DVCPROフォーマットとして記録されたHD（DVCPRO HD/DVCPRO HD-LP）からSD（DVCPRO50/DVCPRO）までの素材に加え、民生DV/DVCAMテープも再生することのできるマルチフォーマットVTRです。

ダウンコンバーターを標準装備していますので、アナログコンポジット信号、SD SDI出力で、すべてのフォーマットのテープの確認が可能です。

さらにバリエブルフレームレートカメラで収録した720/24p over 60pソースからは、1080/24PsFへの変換出力が得られ、シネマ用途にも応えます。

また、

- 720/25p over 60pソースからは1080/25PsFへの変換出力や576iへの変換出力が
- 720/50p over 60pソースからは720/50P、1080/50iあるいは576iへの変換出力が

それぞれ得られます。

高効率のデジタル圧縮技術を採用した高画質VTRで、ダビング時の画質・音質の劣化が大幅に少なくなっています。

また、本機は小型・軽量設計になっておりますので、持ち運びにも負担が軽く、ラックへの設置も楽に行えます。

機器の各設定は、モニターテレビのオンスクリーンメニューを見ながら対話方式で行います。

* DVCPRO HD-LPは、弊社カメラレコーダーの取扱説明書に記載のDVCPRO HD EXと同じフォーマットです。

特長

小型・軽量

本機のサイズは幅214mm、高さ132mm、奥行442mm（突起部分含まず）、質量は8.5kgです。把手を装備しているため、持ち運びに便利です。

効率的なラックへの設置

本機の幅は、19インチの1/2サイズ、高さは3Uサイズです。ラックへの設置が、従来機の2倍の効率で経済的です。

DVCPRO HDカセットテープを使用

使用するカセットテープは、テープ幅1/4インチカセットです。

<ノート>

HD収録時は、DVCPRO HDカセットを使用してください。

高画質

本機は、既存DVCPROの4倍の記録レート（100Mbps）を持った4:2:2 HDコンポーネント信号記録により、高画質を実現しています。

1080i/720P、NTSC/PALスイッチャブル

本機は、映像信号入力（1080i/59.94Hz、720p/59.94Hz）に合わせた切り替えをセットアップメニューの設定で行うことにより、それぞれの信号を記録/再生することができ、NTSCのSD素材の再生が可能です。

また、PALモードにも対応しており、システムメニュー切り替えにより1080i/50Hz、720P/50Hzの記録/再生やPALのSD素材の再生が可能です。

フレームレート変換機能

メニューで切り換えることにより、バリエブルフレームレートカメラでフレームレートが24fpsで記録されたテープを再生すると、1080/24PsFへの変換出力を行うことができます。

25fpsで記録されたテープを再生したときは、1080/25PsFへの変換出力や576iへの変換出力を行うことができます。また50fpsで記録されたテープを再生したときは、1080/50iへの変換出力や576iへの変換出力を行うことができます。

<ノート>

- バリエブルフレームレートカメラで撮影したテープを使用してください。
- 撮影したテープをダビングしたテープ、または編集加工したテープを使用しないでください。テープ管理情報が失われ、正常に変換再生できない場合があります。

DVCPROとの互換再生

DVCPRO HD-LP再生の他に、既存のDVCPRO HD/DVCPRO50/DVCPROで記録されたテープを本機で再生することができます。

また、民生のDVテープ（SP）/DVCAMも本機で再生することができます。

SDダウンコンバート機能

本機はSDダウンコンバーターを標準で内蔵していますので、HD SDI出力と同時にSD SDI出力やアナログコンポジット出力ができ、SDモニターでのモニタリングが可能です。

アップコンバート機能

本機はHDコンバーターを標準で内蔵していますので、SDフォーマットのテープを再生したときに、SDフォーマットで出力すると同時に、HD SDI出力とHDアナログコンポーネント信号で出力することが可能です。

特 長 (続き)

クロスコンバート機能

1080i/59.94Hz フォーマットの信号を 720p/59.94Hz フォーマットの信号に、また、720p/59.94Hz フォーマットの信号を 1080i/59.94Hz フォーマットの信号に変換するクロスコンバーターを内蔵しています。

また、1080i/50Hzと720p/50Hzとのクロスコンバートも可能です。

HDアナログコンポーネント出力

容易にHD をモニターすることが可能です。

フィルム用シネマガンマ補正

バリアブルフレームレートカメラのフィルム用シネマガンマモードで撮影された映像を、フィルム質感の映像に補正することができます。

AC/DCオペレーション

本機の電源は、AC100V ~ 240V と DC12V の両方に対応しています。

編集機能

9ピンシリアルリモート (RS-422A) を使って、アッセンブルや、インサートなどができます。
(1080i/59.94Hz、720P/59.94Hz、1080i/50Hz、720P/50Hzのときのみ)

エンコーダーリモコン機能

ビデオ出力信号の各設定を、外部エンコーダーリモコンコントローラーから調整できます。

つなぎ撮り機能

RECボタンとPAUSEボタンを組み合わせることでオートバック機能が働き、乱れることなく映像をつなぐことができます。

オンスクリーンメニュー設定

きめ細かな機能設定を、オンスクリーンで行うことができます。

タイムコード

本機は TCG (タイムコードジェネレーター) / TCR (タイムコードリーダー) を内蔵しています。

また、外部からのタイムコードを入力することができますので、外部タイムコードにリジェネすることが可能です。

また、TCG (タイムコードジェネレーター) にはバックアップ電池を使用したバックアップ機能を内蔵していますので、本機の電源は OFF 状態でも、フリーランのタイムコードを維持します。

サーチスティック・可変速再生

サーチスティック (スティックコントローラー) を装備しています。サーチ等の可変速再生を、サーチスティックを用いて操作します。

また、オンスクリーンメニュー / タイムコードジェネレータの設定もこのサーチスティックを用いて容易に行えるようになっています。

PF (Programmable Function) ボタン

3つのPFボタンを装備しています。頻繁に使用するセットアップメニューから3つを自由に選択してフロントのボタン操作でメニュー設定値の変更をすることが可能となっています。

UMID情報の記録・再生

SMPTE 330M 規格のUMID (Unique Material Identifier) 情報の記録・再生に対応しています。

UMID情報は、ダイアグメニューで確認することができます。

UMID情報の記録 / 再生に対応していないVTRでは、UMID情報を正しく再生することができません。
また、UMID情報の記録・再生に対応していないVTRを本機に接続して記録を行っても、UMID情報を正しく記録することができません。

VANCデータの記録 / 再生

HD SDIのYストリームに付加されたVANCデータ packetsを、映像信号と同時に記録可能です。

また、HD SDIのYストリームにVANCデータ packetsを再生することも可能です。

AUTO REC機能

弊社のカメラレコーダーと、HD SDI信号で接続が可能です。重置されているコマンドで、遠隔地の本機の記録のON/OFFができます。

多機能なインターフェース

● シリアルデジタル入出力

HDコンポーネントシリアルインターフェース入出力を装備しており、HDコンポーネント映像信号と8チャンネルのデジタルオーディオを、1本のBNCでインターフェースすることができます。

(SMPTE 292M/296M/299M)

また、SDダウンコンバーターを標準で内蔵していますので、SDコンポーネントシリアル信号も出力することができます。

(SMPTE259M-C、272M-A、ITU-R BT.656-4)

● アナログビデオ出力

ダウンコンバーターを標準で内蔵していますので、SDモニターでアナログコンポジット信号のモニタリングが可能です。

● 9ピンリモート

9ピンのリモートコントロール端子を装備していますので、外部リモートコントローラーからの操作が可能です。

● IEEE1394 デジタル入出力

IEEE1394規格に準拠したインターフェースでの入出力が行えます。

<再生フォーマットと出力フォーマット>

再生フォーマット	出力データフォーマット
DVCPRO HD-LP、 DVCPRO HD	DVCPRO HD、 DVCPRO50、DV
DVCPRO50	DVCPRO50、DV
DVCPRO	DVCPRO、DV
DV、DVCAM	DV
EE、RECモード時 ● フロントパネルのINPUT SELECTボタンで「1394」以外を選択	DVCPRO HD

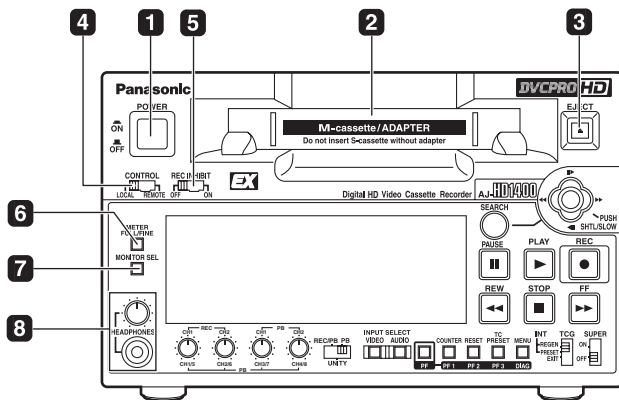
<ノート>

下記の設定を行ったときは、IEEE1394 デジタルインターフェースから信号が出力されません。

- メニュー No.030 HD FREQUENCY で「60/24」を選択したとき。
- メニュー No.025 SYSTEM FREQ で「23/24」、「25 (HD)」、「25 (SD)」、「50 (HD)」、「50 (SD)」を選択したとき。

各部の名称と機能

フロントパネル (1)



1 POWERスイッチ

2 カセット挿入口 (18 ページ参照)

3 EJECTボタン

押すとテープがアンロードし、数秒後自動的にカセットが排出されます。カウンター表示部がCTL表示のときは、表示がリセットされます。

記録中の EJECT ボタン操作許可 / 禁止をメニュー No.115 EJECT SW INHにより選択できます。

4 CONTROLスイッチ

REMOTE端子を使って、外部から本機をコントロールするときに切り替えます。

REMOTE: 9ピンのREMOTE、IEEE1394のAV/Cコマンド、あるいはHD SDI上に重畳されたコマンドを使って本機をコントロールするとき、この位置にします。

LOCAL: 本機の操作パネルで本機をコントロールするときにこの位置にします。

5 REC INHIBITスイッチ

カセットテープへの記録の禁止/許可を選択します。

ON: カセットテープへの記録を禁止します。このとき、表示パネルのREC INHランプが点灯します。

OFF: カセットテープの誤消去防止機構が記録可能のときに、カセットテープへの記録が可能です。

6 METER (FULL/FINE) 切り替えボタン

オーディオレベルメーターのスケール表示 (目盛) を切り替えるボタンです。

FULLモード: 標準目盛りになります。(−∞~0 dBの範囲)

FINEモード: 0.5 dBごとのスケールになります。

■ の位置が基準レベルの−20 dB となります。(12 ページ参照)

7 MONITOR SELボタン

AUDIO MON L/R 端子に出力する音声信号を切り替えます。

ボタンを押すごとに、AUDIO MON L/R端子に出力する信号は

L: [CH1] → [CH3] → [CH1] → [CH2] → [CH3] → [CH4]
R: [CH2] → [CH4] → [CH1] → [CH2] → [CH3] → [CH4]
→ [CUE] → [CH1+CH2] → [CH3+CH4]
→ [CUE] → [CH1+CH2] → [CH3+CH4]

と切り替わります。

現在、どの信号を選択しているかを、レベルメーター表示部のL/Rランプの点灯で表示しています。

CH5~CH8をモニターする場合は、メニュー No.783 AUDIO CH SELで「CH5-8」を選択します。

8 ヘッドホンジャック/音量調整つまみ

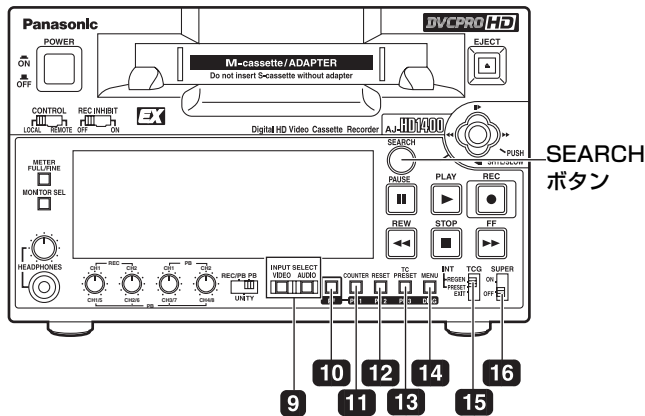
ヘッドホンジャックにステレオヘッドホンを接続すると、記録/再生中の音声を、ヘッドホンでモニターできます。

音量調整つまみで、ヘッドホン出力の音量とモニター出力の音量を調整することができます。

モニター出力の音量を、音声調整つまみに連動させるかどうかはメニューNo.712 MONI OUTで選択可能です。連動させない場合、モニター出力の音量は音声調整つまみの位置に関係なく固定されたレベルになります。

また、ヘッドホン出力の音量は、常に音声調整つまみに連動します。

フロントパネル (2)



9 INPUT SELECT ボタン

ビデオとオーディオの入力信号を切り替えます。また、ビデオ入力信号は、メニュー No.601 VIDEO INT SG で選択された内部基準信号に切り替えることもできます。

VIDEO : VIDEO ボタンを押すごとに、入力ビデオ信号が、[HD SDI] → [1394] → [SG] の順に切り替わり、選択されます。

SGのときの信号は、メニュー No.601 VIDEO INT SG で選択された内部基準信号に切り替わります。

AUDIO : AUDIO ボタンを押すごとに、入力オーディオ信号が、[HD SDI] → [SG] → [ANALOG] の順に切り替わり、選択されます。

<ノート>

- INPUT SELECT ボタンで行う入力切り替え (ビデオとオーディオ) は、メニュー No.190 V IN SEL INH と No.191 A IN SEL INH により禁止することができます。
- オーディオ入力信号を、単独で [1394] に切り替えることはできません。ビデオ入力信号を [1394] に切り替えたときのみ、オーディオ信号は連動して [1394] に切り替わります。また、このときのオーディオ入力信号は [1394] に固定されるため、他の入力信号に切り替えることはできません。

10 PF ボタン

このボタンを押すとボタン 11~13 はそれぞれ PF1、PF2、PF3 ボタンとして動作します。他のボタンを押す前に再度このボタンを押すと、上記モードはキャンセルされます。

また、このボタンと MENU/DIAG ボタン 14 を同時に押すと、DIAG画面が表示されます。

11 COUNTER/PF1 ボタン

このボタンを押すごとに、表示パネルのカウンター表示が CTL→TC→UB→REM と変化します。

12 RESET/PF2 ボタン

CTL モードのときは、このボタンを押すとカウンター表示が [00:00:00:00] になります。TC/UB モードのときは、TC PRESET ボタン 13 を押しながらこのボタンを押すと、ジェネレーターをリセットします。

13 TC PRESET/PF3 ボタン

TC/UB の値を設定するときに使用します。

14 MENU/DIAG ボタン

メニュー No.005 SUPER で選択された端子を使用時、このボタンを押すと、モニターテレビにはセットアップメニューを表示し、本機の表示パネルにはセットアップメニュー番号を表示します。

再度押すと、セットアップメニューの設定から抜けだし、もとに戻ります。

PF ボタン 10 を押しながらこのボタンを押すと、VTR の情報を表示します。再度ボタンを押すと元の表示に戻ります。VTR の情報には、「WARNING」、「HOURS METER」、「UMID INFO」、「DIF STATUS 1,2」の情報が表示されます。

これらの情報の表示切り替えは、SEARCH ボタン 20 を押すことによって行います。

「WARNING」画面では、ワーニングの内容を表示します。「HOURS METER」画面では、デッキのシリアル No.、通電時間、ドラムの回転時間、テープ走行時間、ローディング回数・電源の入切回数等を表示します。

「UMID INFO」画面では、UMID (Unique Material Identifier) の情報を表示します。

「DIF STATUS 1,2」画面では IEEE1394 デジタルインターフェースの情報を表示します。

15 TCG スイッチ

REGEN : タイムコードリーダーがテープから読んだタイムコードに内蔵タイムコードジェネレーターが同期します。リジエネを行う信号は、メニュー No.505 TCG REGEN で選択します。

PRESET : 操作パネルまたは、リモートコントロールでプリセットが可能になります。(55 ページ参照)

EXT : タイムコード入力端子もしくは、映像信号の SLTC、SVITC および IEEE1394 デジタル入力信号から入力する外部タイムコードを使用します。選択はメニュー No.507 EXT TC SEL で設定します。

<ノート>

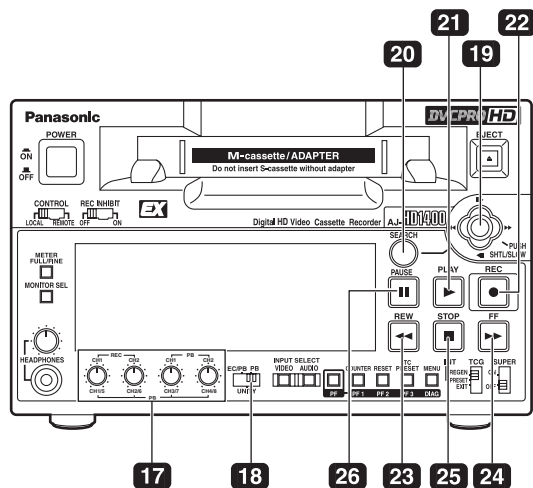
フロントパネルの INPUT VIDEO スイッチで [1394] を選択したときは、IEEE1394 デジタル入出力端子に入力されるタイムコードを使用します。

16 SUPER スイッチ

ON : メニュー No.005 SUPER で選択された端子にタイムコードなどのスーパーを出力します。

OFF : スーパーを出力しません。

フロントパネル (3)



17 オーディオレベルコントロールつまみ

オーディオ信号の記録レベルと再生レベルを調整するつまみです。

オーディオレベルコントロール切り替えスイッチ **18** で CH1/CH2 の記録/再生レベル調整と、CH1～CH4 の再生レベル調整を切り替えます。

<ノート>

- IEEE1394 デジタル入出力のオーディオレベルを調整することはできません。
- 記録レベルはアナログ入力のみ調整できます。

18 オーディオレベルコントロール切り替えスイッチ

UNITY : オーディオレベルコントロールつまみ **17** の位置に関係なく、固定されたレベルでオーディオ信号を記録・再生します。

REC/PB : オーディオレベルコントロールつまみ **17** の左側 2 個で調整されたレベルでアナログ入力 CH1/CH2 のオーディオ信号を記録し、右側 2 個で調整されたレベルで CH1/CH2 のオーディオ信号を再生します。

PB : オーディオレベルコントロールつまみ **17** で調整されたレベルで CH1～4、または CH5～8 のオーディオ信号を再生します。

<ノート>

PB 選択時は、記録レベルが UNITY になります。CH1～4 選択時は CH5～8 の再生レベルが UNITY に、また CH5～8 選択時は CH1～4 の再生レベルが UNITY になります。

また、CH1～4、CH5～8 の選択はメニュー No.783 AUDIO CH SEL で行います。

19 サーチスティック

シャトル/スローなど可変速再生に使用します。

またメニュー設定等にも使用します。

上下左右の操作とスティック自身を押す操作が可能です。くわしくは「サーチスティック・可変速再生」(22 ページ)を参照してください。

<ノート>

電源を入れるとき、サーチスティックの操作はしないでください。可変速再生やメニュー設定操作ができなくなります。

20 SEARCH ボタン

押すと、サーチモードになります。

21 PLAY ボタン

押すと、再生が始まります。

このボタンと REC ボタンを同時に押すと記録が始まります。

22 REC ボタン

このボタンと PLAY ボタンを同時に押すと、記録が始まります。

再生、サーチ、早送り、巻き戻し中にこのボタンを押すと、押している間、EE モードの画像と音声信号をモニターすることができます。(再生中に押すとサーボが乱れます)

ストップモード中にこのボタンを押すと、EE モードの画像と音声をモニターできます。STOP ボタンを押すと、元の画像・音声に戻ります。

23 REW ボタン

押すと、テープを巻き戻します。

速度は、メニュー No.102 FF.REW MAX で選択できます。

24 FF ボタン

押すと、テープを早送りします。

速度は、メニュー No.102 FF.REW MAX で選択できます。

25 STOP ボタン

押すとテープ走行が停止し、メニュー No.140 OUTPUT が「TAPE」のときには静止画をモニターすることができます。

ストップモード中でもドラムは回転し、テープはドラムに密着しています。

ストップモードが一定時間以上経過すると、テープ保護のために自動的にスタンバイ OFF モード、または STEP FWD モードになります。(メニュー No. 400～403 で設定します)

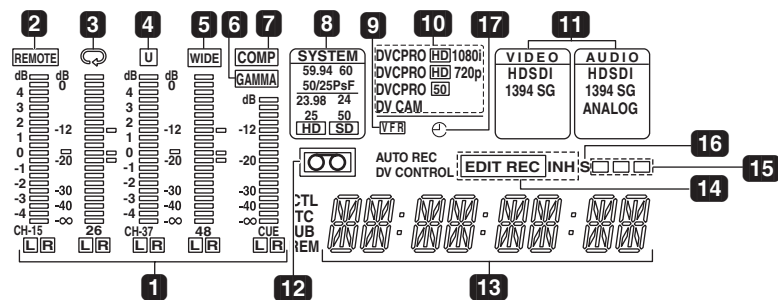
本機にカセットを入れた直後は、ストップモードになります。

26 PAUSE ボタン

記録中に押すと、一時停止します。再度押すと記録を再開します。

再生中に押すと、静止画面になります。再度押すと再生を再開します。

表示パネル

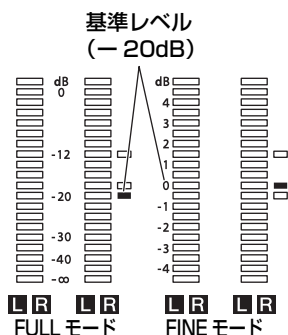


1 レベルメーター

PCM オーディオ信号のCH1/CH2/CH3/CH4 またはCH5/CH6/CH7/CH8とCUEトラックの各レベルを表示します。

オーディオ信号は、記録時およびEE選択時には入力信号のレベルを表示し、再生時には出力信号の各レベルを表示します。

オーディオレベル表示は、メニューNo.783 AUDIO CH SEL の選択により CH1/CH2/CH3/CH4 と CH5/CH6/CH7/CH8に切り替わります。(52 ページ参照)
オーディオレベル表示は、METER切り替えボタン 6 でFULLモードとFINEモードに切り替わります。(9 ページ参照)



2 REMOTEランプ

CONTROL スイッチを、REMOTE にしたときに点灯します。

3 リピートランプ

リピート再生モードが設定されているときに点灯します。

4 Uランプ

EEモードのときは、入力信号にUMID情報が存在しているときに点灯します。
テープ再生時は、テープ上にUMID情報が記録されているときに点灯します。

5 WIDEランプ

メニューNo.620 DOWNCON MODE で「SQUEEZ」を選択され、ダウンコンバート出力がワイド画面になっているとき、またSDテープ再生時は、テープ上にワイド画面情報が記録されているときに点灯します。

6 GAMMAランプ

メニューNo.693 GAMMA SELでGAMMA機能を選択したときに点灯します。

7 COMPランプ

メニューNo.689 COMP MODEで「DARK」を選択したときに点灯します。

8 SYSTEM FREQ表示部

メニューNo.25 SYSTEM FREQの選択内容を表示します。

9 VFR(Variable Frame Rate) ランプ

バリエーションフレームレートカメラで撮影したテープ(24/25/50PsF)を、フレームレート変換機能を選択して再生を行い、変換が正常に行われているときに点灯します。

再生するテープとフレームレート変換機能の選択が不一致の場合は、点滅してお知らせします。

フレームレート変換機能の選択はメニューNo.25 SYSTEM FREQで行います。(37 ページ参照)

10 フォーマット表示

記録フォーマットや挿入されているテープのフォーマット(DVCPRO HD 1080i/DVCPRO HD 720P/DVCPRO 50/DVCPRO/DV/DVCAM)が表示されます。

11 INPUT SELECT表示部

選択された入力信号に対応する文字部が点灯します。アナログオーディオを除き、選択された入力信号がない場合は、点滅してお知らせします。

VIDEO

HDSDI : HDシリアル・デジタル・ビデオ信号

1394 : IEEE1394デジタル信号

SG : 内部基準信号

AUDIO

HDSDI : HDシリアル・デジタル・オーディオ信号

1394 : IEEE1394デジタル信号

SG : 内部基準信号

ANALOG : アナログ・オーディオ信号

12 ランプ

本機にカセットテープが挿入されているときに、このランプが点灯します。
スタンバイOFF モードのときは、点滅します。

13 カウンター表示

テープカウンターやタイムコード等を表示します。
表示している値の種類は、CTL/TC/UB/REM で表示します。

CTL： テープタイマー（コントロール信号）を表示します。

TC： タイムコードを表示します。

UB： ユーザーズビットを表示します。

REM： テープ残量とテープ容量を、分単位で表示します。

例： [30-46]

テープ残量：30分、テープ総量：46分

14 EDIT/EDIT REC/REC/REC INH ランプ

EDIT： 編集モードが選択されているときに点灯します。（9ピンコントロール時）

EDIT REC： 編集記録状態のときに点灯します。（9ピンコントロール時）

REC： 記録状態のときに点灯します。

REC INH： 記録禁止状態（フロント上部のREC INHIBIT スイッチが「ON」か、メニューNo. 118 SP MODE INH で「ON」が選択された状態で DVCPRO HD-LP以外のフォーマットで記録されたテープがかけられたとき、またはカセットが誤消去防止状態）のときに点灯します。

このときには、記録はできません。

カセットテープでの誤消去防止用ツメで記録禁止になっているときに、このランプを点灯または点滅させるかをメニューNo.114 REC INH LAMPにより選択できます。

15 チャンネルコンディションランプ

エラーレートの状態に応じて点灯します。

緑： ビデオ / オーディオの再生信号のエラーレートが、共に良好なときに点灯します。

白： ビデオ / オーディオの再生信号のいずれかのエラーレートが悪化したときに点灯します。このランプが点灯しても、再生画と音声は正常です。

赤： ビデオ / オーディオのいずれかの再生信号が悪化し、修整/補完がかかったときに点灯します。

16 S (SERVO) ランプ

ドラムサーボおよびキャプスタンサーボがともにロックすると点灯します。

17 バックアップ電池警告ランプ

バックアップ電池の電圧状態を、電源ON後の5秒間、表示します。

点灯： 規定電圧以上の場合

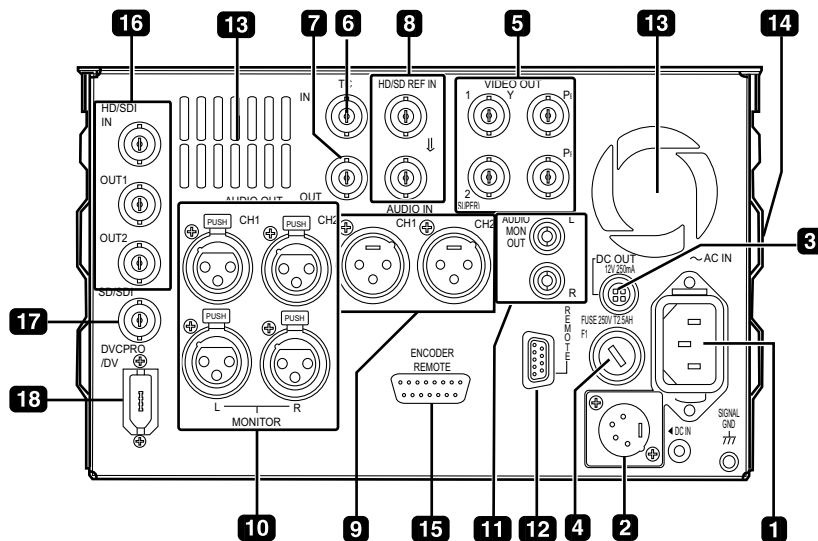
点滅： バックアップ電池が正しく取り付けられていない場合、または規定電圧未満の場合

本機は電源が切れている間、タイムコードジェネレーターをカウントアップするバックアップ機構を搭載しています。詳しくは「電源供給がない場合のタイムコードについて」（56 ページ）を参照してください。

バックアップ電池の電圧が規定値未満になると、カウントアップができなくなり、タイムコードジェネレーターの数値がリセットされることがありますので、電池の交換が必要になります。ただし、バックアップ機能を駆動する必要がない場合は、電池の交換は不要です。

電池を交換する際は、お買い上げの販売店にご相談ください。

リアパネル

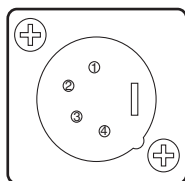


1 AC INコネクター

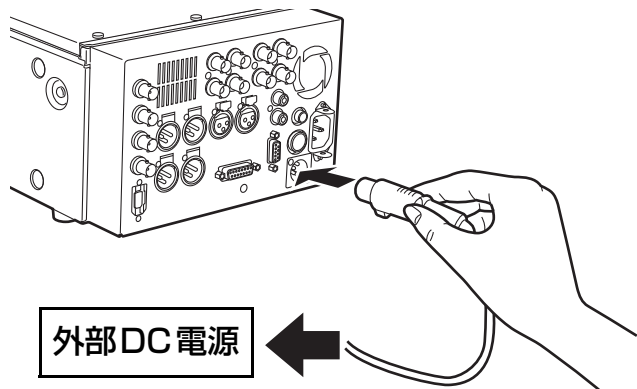
AC電源のインレットです。
 付属の電源コードを接続します。
 AC電源とDC電源の両方が接続されている場合、
 AC電源が優先されます。

2 DC IN端子

DC 12 V電源の入力端子です。
 DC12V、7A (12Aピーク以上) の外部DC電源をご使用ください。
 電圧が約10.6Vまで低下した場合、本機の電源は自動的にOFFになります。(メニューNo.180 BATTERY SEL「TYPE-A」や「TYPE-B」が選択されていないとき)
 その後、電源電圧が回復しても自動的に復帰しません。必ずPOWERスイッチを一度OFFにして、数秒後ONにしてください。



ピンNo.	信号内容
1	Ground
2	—
3	—
4	+12V



外部DC電源を使用するときは、必ず、外部DC電源の定格をご確認の上、本機に適合するものを使用してください。外部DC電源のDC出力端子と本機のDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。誤ってGND端子に+12Vの電源を接続すると、火災やけがの原因になります。
 また、本機と接続する他機器DC IN端子の極性を誤って接続した場合も、火災やけがの原因になります。

<ノート>

- 外部DC電源を使用するときは、必ず外部DC電源の電源スイッチをONにした後、本機のPOWERスイッチをONにしてください。逆の操作を行った場合、外部DC電源の出力電圧がゆっくり立ち上がるなどの理由により、本機が誤動作することがあります。
- 誤って18Vを超える過大入力接続された場合、約20V~35Vで電源が入らないように保護動作いたします。正規の電圧にさせていただくと使用可能です。また、この端子に交流電源は接続しないでください。

3 DC OUT端子

DC 12 Vの出力端子です。
 外部リモートコントローラー (AJ-A95 : 別売品) に電源を供給します。
 DC電源ケーブルは、AJ-A95に同梱されています。



ピンNo.	信号内容
1	Ground
2	—
3	—
4	+12V

4 ヒューズホルダー

AC250V/2.5A タイプ (タイムラグ型) のヒューズが入っています。

<ノート>

当社指定のヒューズをご使用ください。

5 VIDEO OUT (1, 2, Y, P_B, P_R) 端子

VIDEO OUT1 端子はメニューNo. 615 V OUT SEL を切り替えることにより、アナログコンポジット信号、またはHDアナログコンポーネントのYを出力します。VIDEO OUT2 端子は、スーパーを埋め込んだアナログコンポジット信号が出力できます。スーパーの埋め込みは、メニュー No.005 SUPERで切り替えます。

<ノート>

HD アナログコンポーネント出力や HD SDI 出力が 60 Hz/24 Hz で出力されているときは、SD SDI は NO SYNC で出力され、アナログコンポジットは白黒モード(バーストオフ)で出力されます。

6 TC IN 端子

外部タイムコードを、テープ上に記録するための端子です。

7 TC OUT 端子

再生時は、再生タイムコードを出力します。記録時は、内部タイムコード・ジェネレーターの発生するタイムコードを出力します。

8 HD/SD REF VIDEO IN 端子と OUT 端子

HD/SDリファレンス・ビデオ信号の入力端子と、ループスルー出力端子です。

<ノート>

- HDリファレンスとして使用する場合は、正負両極性の3値同期信号を入力してください。また、入力信号やテープフォーマットに合った信号を入力してください。
- SDリファレンスとして使用する場合は、SMPTE170M、ITU624-4 に準拠したブラックバースト信号を入力してください。
- REF VIDEO OUT 端子にケーブルを接続しない場合、REF VIDEO IN 端子は自動的に75Ω 終端になります。ケーブルを接続すると、75Ω 終端は解除されます。

9 AUDIO IN 端子 (CH1/CH2)

アナログオーディオ信号の入力端子です。

10 AUDIO OUT/MONITOR 端子 (CH1/CH2/Lch/Rch)

アナログオーディオ信号の出力端子です。Lch/Rchは、メニュー No. 712 MONI OUT の設定で、ヘッドホン用の音量調整つまみに連動することができます。

11 AUDIO MONITOR 端子

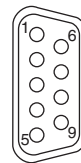
オーディオモニター出力端子です。モニター選択チャンネルを出力します。メニュー No. 712 MONI OUT の設定で、ヘッドホン用の音量調整つまみに連動することができます。

12 REMOTE CONTROL 端子

外部リモートコントローラーを接続して、外部から本機を操作することができます。

<ノート>

- LOCAL/REMOTE スイッチは、REMOTE の位置にしてください。
- RS-422A インターフェース準拠です。



ピンNo.	信号内容
1	Frame Ground
2	Transmit A
3	Receive B
4	Receive Common
5	—
6	Transmit Common
7	Transmit B
8	Receive A
9	Frame Ground

13 ファンモーター

本機の冷却用のファンモーターです。

14 把手

持ち運び用ハンドルです。

15 ENCODER REMOTE 端子

ビデオ出力信号の各設定を外部から調整するとき、外部のエンコーダーリモートコントローラーを接続します。

ピンNo.	信号内容
1	FRAME GROUND
4	REM(G)
7	REM RX (X) REMOTE CONTROL PROTOCOL RECEIVE
8	REM TX (X) REMOTE CONTROL PROTOCOL TRANSMIT
14	REM RX (Y) REMOTE CONTROL PROTOCOL RECEIVE
15	REM TX (Y) REMOTE CONTROL PROTOCOL TRANSMIT

16 HD SERIAL COMPONENT AUDIO VIDEO IN/OUT 端子

SMPTE 292M、296M、299M規格に準拠した、HD デジタル・コンポーネント・オーディオ/ビデオ信号の入出力端子です。

17 SD SERIAL COMPONENT AUDIO VIDEO OUT 端子

SMPTE 259M-C、272M-Aに準拠した、デジタル・コンポーネント・オーディオ/ビデオ信号の出力端子です。DVCPRO50/DVCPRO/DV/DVCAM 互換再生時や、ダウンコン出力時に出力します。

<ノート>

23.98/24 Hz モード時では、SD SDI 出力、アナログコンポジットビデオ出力のシステム位相は、HD SDI 出力と位相を合わせるために、テープ走行が1倍速になったとき、変化する場合があります。

18 IEEE 1394 デジタル入出力

IEEE1394 デジタルインターフェースでの入出力が行えます。コネクタは6ピンタイプを使用してください。バスパワーには対応していません。

リファレンス信号について

再生時、ビデオ出力のリファレンスは以下ようになります。

59.94 Hz/60 Hz、50 Hzモード時

入力信号の有無		メニュー No.031			
REF_IN	INPUT	AUTO	HD_REF	SD_REF	INPUT* ¹
HD_REF_IN	有	HD_REF_IN	HD_REF_IN	Internal SD	INPUT
	無	HD_REF_IN	HD_REF_IN	Internal SD	Internal HD
SD_REF_IN	有	SD_REF_IN	Internal HD	SD_REF_IN	INPUT
	無	SD_REF_IN	Internal HD	SD_REF_IN	Internal SD
無	有	INPUT	Internal HD	Internal SD	INPUT
	無	Internal HD	Internal HD	Internal SD	Internal HD

*1 ビデオ入力信号に1394、またはINT SG（内部基準信号）が選択されている場合は、常にInternal HDになります。

<ノート>

- メニュー No.031 OUT REFで「E-AUTO」を選択すると、編集モードにおいては「INPUT」、編集モード以外では「AUTO」が選択されているものとして動作します。
- SD → HD のアップコンバーター、およびHD → HD のクロスコンバーターの際、HD_REF_INで動作させるためには、HD 出力フォーマットに応じたHD3値SYNCを入力してください。

23.98 Hz/24 Hzモード時

入力信号の有無	
REF_IN	
HD_REF_IN	HD_REF_IN
無	Internal HD

25 Hz (HD)/25 Hz (SD)、50 Hz (HD)/50 Hz (SD) モード時

入力信号の有無	メニュー No.031			
REF_IN	AUTO	HD_REF	SD_REF	INPUT
HD_REF_IN	HD_REF_IN	HD_REF_IN	Internal SD	Internal HD
SD_REF_IN	SD_REF_IN	Internal HD	SD_REF_IN	Internal HD
無	Internal HD	Internal HD	Internal SD	Internal HD

<ノート>

- 25 Hz (HD)、50 Hz (HD) モード時は、SD SDI出力とアナログコンポジット出力からブラック信号が出力されます。
- 25 Hz (SD)、50 Hz (SD) モード時は、HD SDI出力とアナログコンポーネント出力からブラック信号が出力されません。
- REF入力に対して、HD SDI出力、SD SDI出力、ビデオ出力、アナログコンポーネント出力、オーディオ出力、およびTC出力はすべて同位相で出力しています。

Internal HD :

HD再生の基準、74MHzCLKがFreeRunで動作します。

Internal SD :

SD再生の基準、4fscCLKがFreeRunで動作します。

リファレンスの周波数について

再生時、ビデオ出力のリファレンスの周波数は以下ようになります。

59.94 Hz/60 Hz、60 Hzモード時

入力信号の有無		メニュー No.031			
REF_IN	INPUT	AUTO	HD_REF	SD_REF	INPUT
HD_REF_IN	有	HD_REF_INの周波数に従う。	HD_REF_INの周波数に従う。	59.94Hz	INPUTの周波数に従う。
	無	HD_REF_INの周波数に従う。	HD_REF_INの周波数に従う。	59.94Hz	メニュー No. 030の周波数に従う。
SD_REF_IN	有	59.94Hz	メニュー No. 030の周波数に従う。	59.94Hz	INPUTの周波数に従う。
	無	59.94Hz	メニュー No. 030の周波数に従う。	59.94Hz	メニュー No. 030の周波数に従う。
無	有	INPUTの周波数に従う。	メニュー No. 030の周波数に従う。	59.94Hz	INPUTの周波数に従う。
	無	メニュー No. 030の周波数に従う。	メニュー No. 030の周波数に従う。	59.94Hz	メニュー No. 030の周波数に従う。

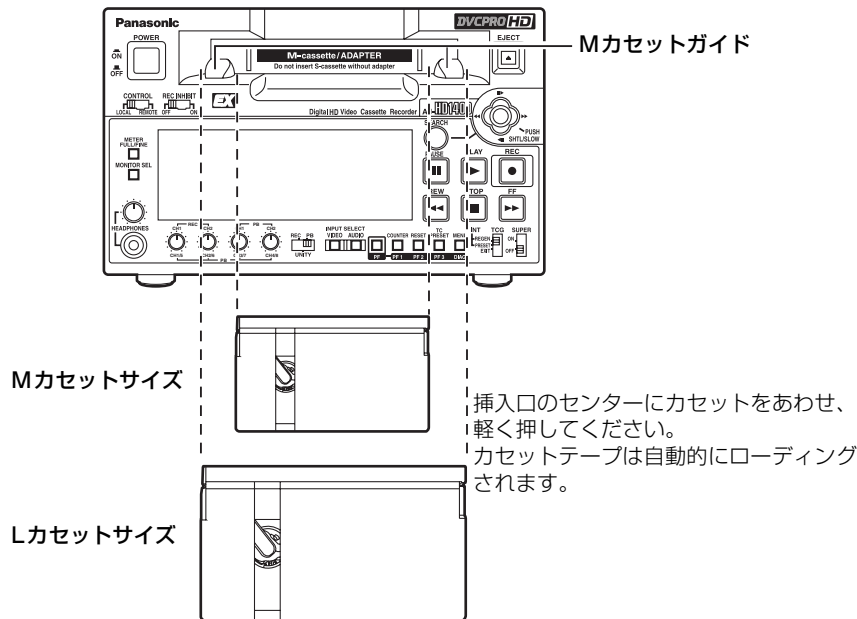
<ノート>

- SDテープ再生時に60Hzモードで動作させることはできません。
- HD SDI出力が60Hz/24Hzで出力されているときは、SD SDIはNO SYNC、アナログコンポジットは白/黒モード（バーストオフ）で出力されます。
- REF 入力に対して、HD SDI出力、SD SDI出力、アナログコンポジット出力、アナログコンポーネント出力、オーディオ出力、およびTC出力はすべて同位相で出力しています。

メニュー No.26 HD SYS H ADVで「90H」を選択すると、HD 出力はSD 出力より90H 進んだ位相で出力します。なお、SD REF入力時はREF入力とSD出力が同位相になり、HD REF入力時はREF入力とHD出力が同位相になります。

- オーディオ出力とTC出力は、HD出力と同位相で出力します。
- 720P時は、120Hの位相差となります。

テープについて



民生DV/DVCAMカセット (標準DV/DVCAMカセット、ミニDV/DVCAMカセット)

- ミニDV/DVCAMカセットテープを使用する場合は、カセットアダプター (AJ-CS455P) をご使用ください。カセットアダプターを使用せずにミニDV/DVCAMカセットテープを挿入すると、故障の原因となりますのでご注意ください。
ただし、長時間用ミニDVカセットテープ (標準モード80分/LPモード120分) は、使用することができませんのでご注意ください。
- LPモードで記録されたテープの再生はできません。
- 民生DV/DVCAMカセットテープに記録された素材を編集するときには、DVCPROのテープか、他の放送用VTRに記録してご使用ください。
- ミニDV/DVCAMカセットテープの最大送り速度は32倍速です。
- 民生DV/DVCAMカセットテープのスローモーション再生は画像が乱れる場合があります。
- テープ保護の観点から、民生DV/DVCAMカセットテープでの同じ箇所でのキューアップは、できるだけひかえて頂きますようお願いいたします。
- 民生DV/DVCAMカセットテープ使用時、STILL TIMERの最大時間は10秒に設定されています。

なお、民生用DVテープはパナソニックの民生用DVテープのご使用をお勧めいたします。

<カセット挿入に関するご注意>

- 挿入口と水平にカセットを合わせ、まっすぐに挿入してください。
- 挿入口より奥に手を差し込まないでください。
- Mカセットは、左右のMカセットガイドの間に挿入してください。
- カセット挿入口に強い直射日光を当てると、テープ走行が誤作動する恐れがあります。

Mカセット

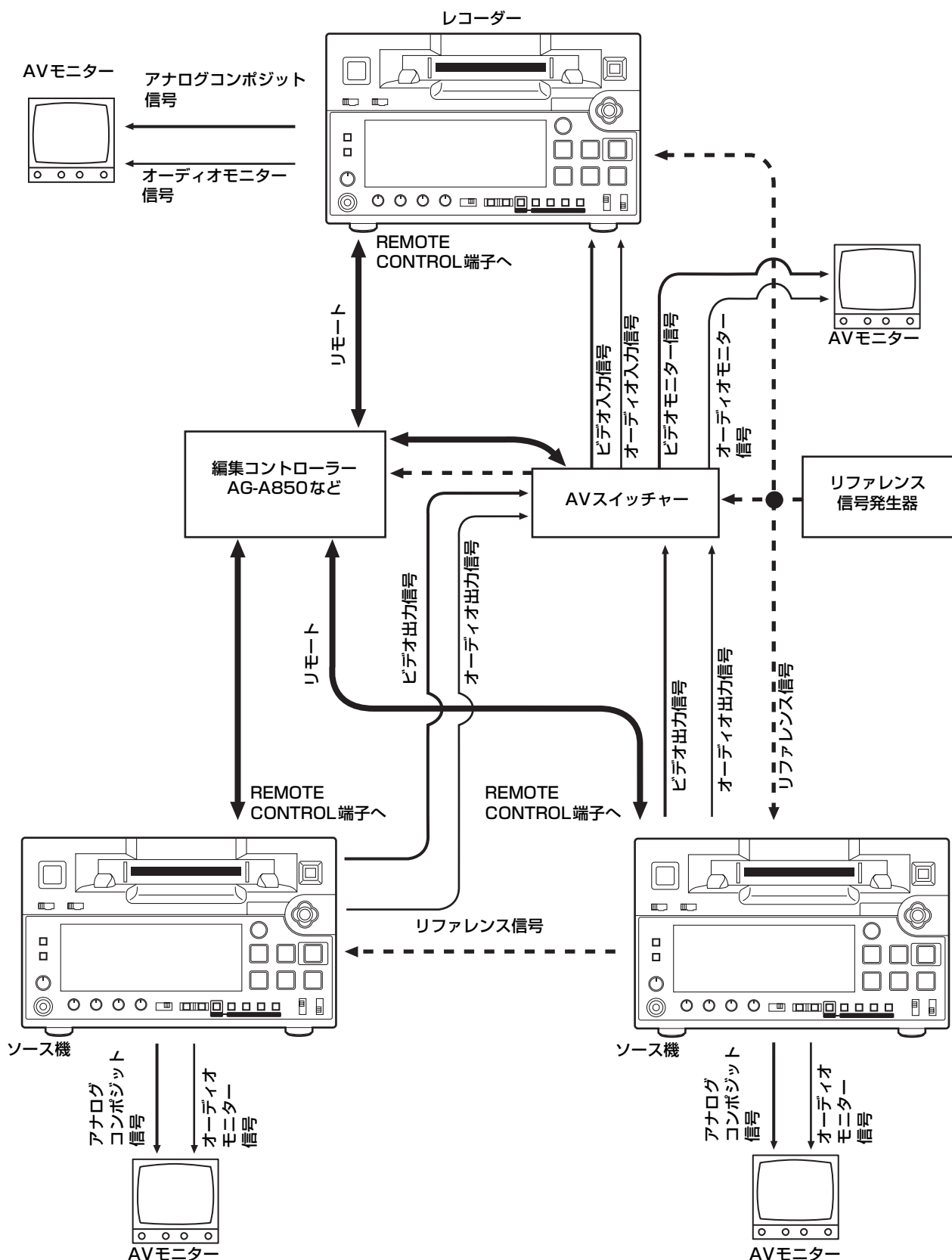
最大33分の記録・再生テープ
(AJ-HP33EMG)

Lカセット

最大64分の記録・再生テープ
(AJ-HP64ELG)

接 続

編集コントローラーとの接続例



<ノート>

- リモート信号 (9P) の接続を、他の機器に接続しなす場合は、編集コントローラーの設定などを再確認してください。
- 1394接続で編集を行った場合、編集点に誤差が生じることがあります。
- 0.5倍速以下でJOG/VAR動作を行うと、CTLカウントに誤差が生じることがあります。

IEEE1394 デジタルインターフェース

本機の設定

本機のメニュー No.882 DIF IN CHとNo.883 DIF OUT CHの設定が「AUTO」になっていることを確認してください。

また、メニュー No.25 SYSTEM FREQ で「59/60」が選択されていて 59.94 Hz で動作しているときに、デジタル入力信号の入出力が可能になります。また、メニュー No.25 SYSTEM FREQ で「50i/25P」が選択されているときも、デジタル入力信号の入出力が可能になります。

<ノート>

- 入力できる信号は、メニュー No.020 SYSTEM FORMAT で選択したフォーマットに限ります。
- 出力フォーマットは下表に従って決定されます。

再生フォーマット	出力データフォーマット
DVCPRO HD-LP、 DVCPRO HD	DVCPRO HD、 DVCPRO50、DV*
DVCPRO50	DVCPRO50、DV*
DVCPRO	DVCPRO、DV
DV、DVCAM	DV
EE モード、記録/編集時 (つなぎ撮りを含む) ● フロントパネルのINPUT SELECT ボタンで「1394」以 外を選択	DVCPRO HD

* 出力する音声のチャンネルは CH1/CH2、または CH3/CH4 を選択することができます。

下記の設定を行ったときは、IEEE1394 デジタルインターフェースから信号が出力されません。

- メニュー No.025 SYSTEM FREQ で「23/24」、「25 (HD)」、「25 (SD)」、「50 (HD)」、「50 (SD)」を選択したとき。
- 本機が 60 Hz/24 Hz で動作しているとき。

使用上のご注意

- 他の機器とは、1対1で接続してください。
- ワーニングE-92 (1394 INITIAL ERROR) が表示される場合は、接続ケーブルを差しなおすか、VTRの電源を入れなおしてください。
- 接続された機器の電源ON/OFFおよび、I/Fケーブルの抜き差しなどで、AV信号が乱れることがあります。
- 入力信号の切り替え時やモード移行の際に、システムが安定するまで数秒かかることがあります。システムが安定した後に、記録動作を行ってください。
- IEEE1394 デジタルインターフェース入力選択で記録を行う場合、または IEEE1394 デジタルインターフェースで出力される信号に対しては下記ようになります。
 - ・ フロントパネルのオーディオレベルコントロールつまみは動作しません。メニュー No.680/681/695 の設定は無視され、ブランキングされません。
 - ・ 通常の1倍速再生以外の再生信号を入力したとき、記録される映像や音声、あるいは EE 系の画像と音声は保証されません。
- ビデオの入力選択を IEEE1394 デジタルインターフェースとして選択した場合は以下ようになります。
 - ・ EE モードでの SDI、またはアナログビデオ出力信号およびタイムコード出力は不正規となります。また、その信号を記録用には使用しないでください。(テレテキスト信号等ビデオ出力信号に多重される信号も不正規となります。)
- SLOW/STILL 再生時には、IEEE1394 デジタルインターフェース出力として未処理のビデオ、オーディオ信号が出力されます。これらのビデオ、オーディオ信号を他の機器でモニターすると、本機で再生したビデオ、オーディオ信号と異なる場合があります。本機とノンリニア編集を行う機器を接続して使用するときは、ノンリニア編集のソフトウェア以外のアプリケーションプログラムを起動させないでください。ノンリニア編集を行う機器からの出力ビデオ映像に、影響する場合があります。

IEEE1394 ケーブルを接続する場合は、以下のことを必ずお守りください。

- (1) 本機ならびに接続する全ての機器は接地（アース）した状態（または共通のGNDに接続した状態）でご使用ください。
接地できない場合は、まず接続された全ての機器の電源を切ってから、IEEE1394 ケーブルの抜き差しを行ってください。
- (2) 4ピン型の端子を持つ機器と本機を接続する場合は、本機の端子（6ピン型）を先に接続してください。
- (3) 6ピン型の端子の付いたパソコンと接続する場合は、IEEE1394 ケーブルを1394端子の形状通りに接続してください。プラグを逆に差し込むと、本機の破損につながりますのでご注意ください。

VANCデータの記録／再生

VANCデータの記録

- 1** HD SDIのYストリームの下記の範囲に多重して記録されたVANCデータパケットを検出します。
1080i： L9～L20、L571～L583
720P： L9～L25

<ノート>

HANCデータパケットの検出は行いません。

- 2** ラインの早い順に、下記の容量までVANCデータパケットをDVCPRO HDフォーマットのVAUX領域に記録します。
1080i： 5760 word/frame
720P： 2880 word/frame

<ノート>

容量を超えて入力されたデータパケットは、記録／再生されません。

- 3** HD SDIの映像信号も同時に記録します。

<ノート>

VANCデータのための記録／再生はできません。

VANCデータの再生

- 1** VTRの動作モードが下記のとときに、HD SDIのYストリームに多重して、映像信号と同時に再生します。
- ノーマル再生モード
 - 同時再生モード
 - エディット再生モード
 - EEモード

<ノート>

- FF、REW、JOG、VARなど、上記以外の動作モードのときは、VANCデータをミュートし、映像信号のみを再生します。
- VANCデータのための再生はできません。

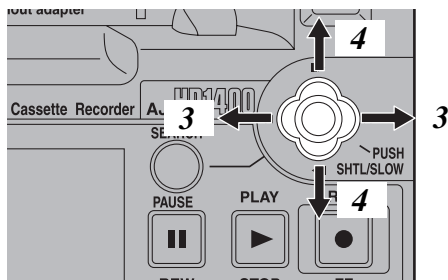
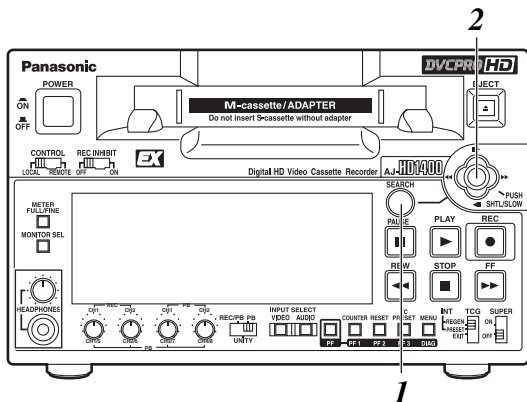
- 2** VANCデータパケットが、多重されていたラインと同じラインに多重します。

<ノート>

- フォーマット変換再生時は、VANCデータをミュートし、映像信号のみを再生します。
- テープ上に記録されたメタデータは、UMID情報を優先して出力します。メタデータを出力する際は、元の多重していたライン以外に設定するか、「BLANK」を選択してください。

サーチスティック・可変速再生

サーチスティック



可変速再生

REMOTE CONTROL 端子に 9P リモートコントローラーを接続すると、コントローラーの操作により可変速再生することができます。

- 1 SEARCHボタンを押して、サーチスティックを有効にします。
メニュー No.100 SEARCH ENAが「STICK」に設定されているときは、SEARCHボタンを押さなくてもサーチスティックが有効になります。
- 2 サーチスティックを押してSHTLモードかSLOWモードに切り替えます。
- 3 サーチスティックを右に倒すと、倒した角度に応じた速度でフォワード方向への可変速再生ができます。左に倒すとリバース方向になります。
 - SHTLモード： サーチスティックを最大に倒したときの最高速度は、メニュー No.101 SHTL MAXで設定した速度となります。
 - SLOWモード： $-0.9 \sim +1.0$ までの速度となります。
- 4 サーチスティックを上倒すと、フォワード方向にフレーム送り、逆に下倒すとリバース方向にフレーム送りします。
上あるいは下に倒したまま保持すると、スロー再生ができます。
 - サーチスティックを倒したままSEARCHボタンを押すと、サーチスティックを離しても現在の速度を保持します。STOP、PLAYなどの操作ボタンを押すと、速度の保持は解除されます。

<ノート>

- 1倍速以外の速度では、映像/音声にノイズが現れる場合があります。
- $-0.9 \sim +1.0$ 倍速の範囲ではPCM音声、それ以外の速度ではCUE音声で再生します。
くわしくはメニュー No.746 MONI CH SEL (51 ページ) と、No.765 CUE OUT SEL (52 ページ) を参照してください。

PF (Programmable Function) 機能

セットアップメニューの項目を3件登録でき、PFボタンを使用し、簡単操作でセットアップメニュー設定値を変更できません。

PF ボタンへの登録

- 1 MENUボタンを押してセットアップメニューを開き、サーチスティックを下に倒してA00 MENUにカーソルを移動し、サーチスティックを右に倒します。
- 2 サーチスティックを上下に倒し、登録するPF番号の項目 (A04～A06) にカーソルを移動します。

```
SETUP-MENU MENU
<USER1> NO. A04-
A02 P.ON LOAD OFF
*A04 PF1 ASSIGN 012
A05 PF2 ASSIGN 513
A06 PF3 ASSIGN ---
END
```

- 3 サーチスティックを押すと、設定できる項目が表示されます。

```
SETUP-MENU MENU
<USER1> NO. A04-
A04 PF1 ASSIGN 012
*--- NO ASSIGN
001 LOCAL ENA
002 LOCAL TIMER
003 REMAIN SEL
008 CHARA H-POS
009 REMAIN SEL
010 CHARA V-POS
```

- 4 サーチスティックを押すと、カーソル位置の項目が選択され、通常のメニュー表示画面に戻ります。
- 5 MENUボタンを押すと、確認画面が表示されます。PLAYボタンを押してPFボタンへの登録を確定します。

<ノート>

- 以下のメニュー項目は登録できません。

No.	メニュー項目	No.	メニュー項目
05	ENCODER SEL	653	Y LEVEL (HD)
06	V LEVEL CTRL	654	Pb LEVEL (HD)
12	SYS H (HD)	655	Pr LEVEL (HD)
14	SYS SC (SD)	656	BK LEVEL (HD)
15	VO SYS SC (SD)	658	Y LEVEL (SD)
16	SD SYS SC (SD)	659	Pb LEVEL (SD)
18	SCH CORS (SD)	660	Pr LEVEL (SD)
19	SCH FINE (SD)	661	BK LEVEL (SD)
20	AV PHASE	662	V LEVEL
25	SYSTEM FERQ	663	C LEVEL
26	HD SYS H ADV	664	HUE
181	TYPE A NEAR	665	SETUP LVL
182	TYPE A END		
183	TYPE B NEAR		
184	TYPE B END		

- PFボタンに登録されたメニュー項目は、メニューNo.25 SYSTEM FREQの変更に伴い、メニューが表示されなくなった場合は、連動してPFボタンへの登録内容も未登録状態となり、表示および操作ができなくなります。「表示されるメニューについて」(32 ページ)を参照してください。
PFボタンへの登録内容は保存されていますが、再登録を行うと登録内容は更新されます。

PF ボタンでの操作

- 1 PFボタンを押すと、VIDEO MON端子出力のモニター画面上に登録されている項目が表示されます。
- 2 設定を変更する項目に対応するPF1～PF3ボタンを押します。ボタンを押すごとに設定値が順に更新されます。

```
PF1:SYS FORMAT 50M
PF2:INT SG CB75
PF3:-----
```

- 3 再度PFボタンを押すと、通常表示に戻ります。また、何も操作しないと約5秒後、自動的に通常表示に戻ります。

一時停止 / 記録 (つなぎ撮り)

- 1 カセットテープを再生中に、PAUSE ボタンを押します。
- 2 REC ボタンを押し、REC PAUSE モードにします。
メニュー No.154 AUTO BACK が「REC-P」、または「ALL」に設定されているとき、PAUSE ボタンを押した位置より、数秒間テープが巻き戻されます。
- 3 PAUSE ボタンを押し、記録を始めます。
1でPAUSE ボタンを押した位置までテープが走行し、記録を開始します。
- 4 再度PAUSE ボタンを押し、記録を一時停止します。
メニュー No.154 AUTO BACK が「REC-P」、または「ALL」に設定されているとき、PAUSE ボタンを押した位置より、数秒間テープが巻き戻されてから、一時停止します。
- 5 3と4を繰り返し行うことにより、つなぎ撮りを行うことができます。

キューアップ

つなぎ撮りを行った場合、記録開始点および記録終了点のタイムコードをバックアップしています。ただし、COUNTER ボタンで「CTL」を選択している場合は、コントロール信号をバックアップします。
下記のボタン操作により、記録開始点、または記録終了点にキューアップを行うことができます。

STOP+REW

STOP ボタンを押しながらREW ボタンを押すと、記録開始点にキューアップします。

STOP+FF

STOP ボタンを押しながらFF ボタンを押すと、記録終了点にキューアップします。

<ノート>

タイムコードが不連続になっている場合は、記録開始点へのキューアップを正しく行うことができません。下記の設定を行ってください。

- メニュー No.154 AUTO BACK:
「REC-P」または「ALL」
- メニュー No.503 TCG MODE:
「REGEN」または「AUTO」

- 1 つなぎ撮りを行います。
- 2 STOP ボタンを押しながらREW ボタンを押します。
記録開始点に± 1 フレームの精度でキューアップします。
- 3 PLAY ボタンを押し、記録内容を確認します。
- 4 STOP ボタンを押しながらFF ボタンを押します。
記録終了点にキューアップして、5 ~ 10 フレーム手前で停止します。
- 5 PAUSE ボタンを押した後、REC ボタンを押してREC PAUSE モードにします。

<ノート>

- バックアップは、最後につなぎ撮りを実施したイベントに対してのみ保存されます。
- STOP ボタンを押して記録停止を行った場合でも、記録終了点はバックアップされます。
- 未記録部分からのキューアップは、正しく行うことができません。
- キューアップ中にFF/REW ボタンを押した場合、通常のサーチモードに移行します。
- 電源を切ると、記録開始点および記録終了点のバックアップデータはクリアされます。

レポート再生

BEGIN 点、END 点の設定

- 1 MENU ボタンを押します。
- 2 メニュー No.161 CTL (TC) BGN または、No.162 END を選択し、SEARCH ボタンを押しながらサーチスティックを左右に倒します。
サーチスティックを操作すると、設定と未設定の選択ができます。
未設定時の表示は、--- : --- : --- : --- となります。
この状態でレポート再生を行うと、BEGIN 点がテープの始端に、END 点がテープの終端になります。
- 3 設定表示の状態ですらサーチスティックを押します。変更桁が点滅表示となります。
- 4 COUNTER ボタンで、TC、CTL のいずれかを選択します。
- 5 サーチスティックを左右に倒して、変更桁（点滅表示）を選択します。
ただし、フレームの桁は選択できません。常時、「00」が表示されます。
サーチスティックを上下に倒すと値が変わります。
RESET ボタンを押すと、00 : 00 : 00 : 00 にリセットされます。
- 6 設定終了後は、サーチスティックを押します。
- 7 MENU ボタンを押します。

<ノート>

BEGIN 点、END 点の設定値はユーザーデフォルトに保存されません。また、工場出荷時の設定値やユーザーデフォルトをロードしても、BEGIN 点、END 点の設定値は変化しません。ユーザーデフォルトについては「セットアップ（初期設定）」（27 ページ）を参照してください。

レポート再生モードの設定

- 1 MENU ボタンを押します。
- 2 メニュー No.160 MEMORY MODE を選択し、レポート再生モードを選択します。

設定内容	動作
OFF	通常動作
M-STOP	早送りや巻戻しを行うと、BEGIN 点付近で停止します。
REPT1	END 点まで再生すると、BEGIN 点までテープを巻戻して停止します。
CONT	END 点まで再生すると、BEGIN 点までテープを巻戻して再生することを繰り返します。

- 3 MENU ボタンを押します。
確認画面が表示されますので、この状態でPLAY ボタンを押すと、設定値が記憶されます。

<ノート>

- 同じテープで何回もレポート再生を行うと画像が乱れる場合がありますので、約100回を目安に新しいテープと交換してください。
- レポート再生モードでBEGIN 点に戻るときの出力映像は、メニュー No.163 REPT MODE で設定できます。REPT MODE の設定を「FREEZE」にした場合、END 点がテープの終端に設定されていると、正しく再生映像をフリーズしません。映像が記録されている範囲でEND 点を設定してください。
- メニュー No.161 CTL (TC) BGN や No.162 END で設定したときのカウンター表示モード（TC/CTL）と、レポート再生を行うカウンター表示モード（TC/CTL）が異なるときはREPEAT ランプが点滅し、レポート再生動作を行いません。
- 民生用DV、DVCAM テープを使用時、レポート再生モードは動作しません。

バリアブルフレームレートカメラからの記録

バリアブルフレームレートカメラの HD SDI 出力信号を記録

バリアブルフレームレートカメラの HD SDI (720/30P over 59.94P) 出力を本機の HD SDI 入力端子に接続します。

- 1 メニュー No.032 REC REF で「SLTC」を選択します。
HD SDI 信号に重畳されているタイムコードからフレーム情報を検出し、フィールドのズレを防止します。
- 2 下記の設定を行い、2 の設定を有効にします。
 - メニュー No.25 SYSTEM FREQ : 59/60
 - メニュー No.020 SYS FORMAT : 720p
 - フロントパネルの INPUT SELECT ボタン : HDSDI
- 3 本機を REC PAUSE モードにします。
- 4 バリアブルフレームレートカメラの HD SDI 出力映像を確認しながら、PAUSE ボタンを押し、記録を開始します。
タイムコードは、記録するテープの連続性を保ちながら記録されます。
ユーザズビットは、HD SDI 信号に重畳されているものが記録されます。

<ノート>

メニュー No.032 REC REF の設定により、テープ上に記録されるタイムコードとユーザズビットは、次のようになります。

SLTC :

タイムコードは、記録するテープの連続性を保ちながら記録されます。

ユーザズビットは、HD SDI 信号に重畳されているものが記録されます。

下記の設定は、無効になります。

- フロントパネルの TCG スイッチ (REGEN/PRESET/EXT)
- メニュー No.503 TCG_MODE (SW/AUTO)
- メニュー No.505 TCG_REGEN (TC&UB/TC/UB)
- メニュー No.507 TC_SOURCE (EXT_L/SLTC/SVITC)

NORMAL :

タイムコードとユーザズビットは、下記の設定に従って記録されます。

- フロントパネルの TCG スイッチ (REGEN/PRESET/EXT)
- メニュー No.503 TCG_MODE (SW/AUTO)
- メニュー No.505 TCG_REGEN (TC&UB/TC/UB)
- メニュー No.507 TC_SOURCE (EXT_L/SLTC/SVITC)

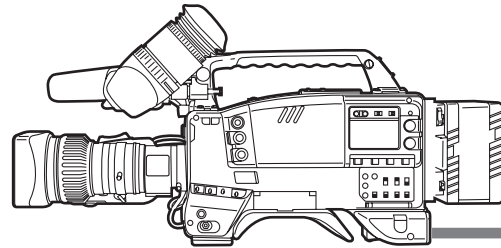
フィールドのズレ

720P の HD SDI 信号には、第 1 フィールドと第 2 フィールドを判別する情報がありません。

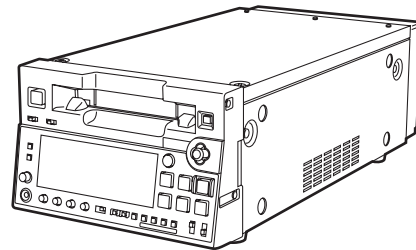
従って、通常は、HD SDI 信号を送出する機器と記録する機器を、SD の基準信号で同期を取る必要があります。

同期を取らない場合は、入力された HD SDI 信号のフレームが検出できないために、下記のように 1/2 の確率でフィールドのズレ (タイムコードと映像フレームが合わない) が発生します。

バリアブルフレームレートカメラ



720/30P over 59.94P



AJ-HD1400

バリアブルフレームレートカメラの映像出力

A	A	B	B	C	C	D	D	E	E	F

バリアブルフレームレートカメラのタイムコード出力

00	01	02	03	04	05
----	----	----	----	----	----

VTR の記録映像

A	B	B	C	C	D	D	E	E

VTR の記録タイムコード

00	01	02	03	04
----	----	----	----	----

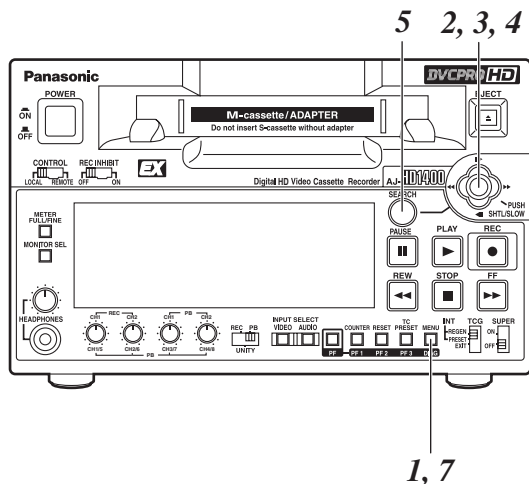
このフィールドのズレを防止するために、バリアブルフレームレートカメラの HD SDI (720/30P over 59.94p) 出力を本機で記録する場合は、メニュー No.032 REC REF で「SLTC」を選択します。

セットアップ (初期設定)

本機の主な設定は、本機に接続されたビデオモニターに表示される、オンスクリーンメニューで設定・確認することができます。

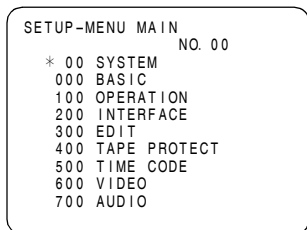
また、フロントパネルのディスプレイ部に表示される、項目番号と設定番号、あるいは項目名で設定・確認することもできます。

さらに、ユーザーデフォルトを3セット用意していますので、あらかじめ好みの設定をメモリーして使用することが可能です。



オンスクリーンメニューでの設定方法

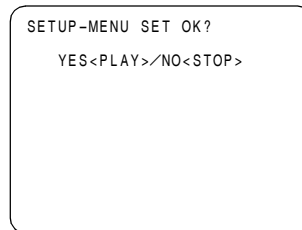
- 1 MENUボタンを押します。
ビデオモニターにセットアップメニューの大項目の選択画面が表示され、カウンター表示部に大項目名が表示されます。



- 2 サーチスティックを上下に倒して、設定する大項目を選びます。
大項目の選択画面のカーソル(*)が上下に移動し、カウンター表示部に大項目名が表示されます。
- 3 サーチスティックを右に倒して、各項目の設定画面に移動します。
ビデオモニターに各項目の設定画面が表示され、カウンター表示部に項目No.が点滅表示されます。
FFボタンを約1.5秒間押しすと、カウンター表示部に項目名を表示させることができます。再度、FFボタンを約1.5秒間押しすと項目No.の表示に戻ります。
大項目の選択画面に戻るときは、サーチスティックを左に倒します。
- 4 サーチスティックを上下に倒して、設定を変更する項目を選びます。
設定画面のカーソル(*)が上下移動し、カウンター表示部に項目No.が点滅表示します。

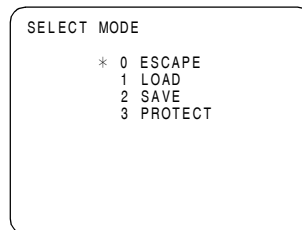
- 5 変更する位置で、SEARCHボタンを押しながらサーチスティックを左右に倒します。
設定画面の設定値、およびカウンター表示部の設定値が点滅し、サーチスティックを左右に倒すたびに設定値が変更されます。設定したい数値になったところで、サーチスティックを元に戻します。
設定値を工場出荷設定に戻すときは、SEARCHボタンを押しながら、RESETボタンを押します。

- 6 他に変更する項目がある場合、4・5・6を繰り返します。
- 7 MENUボタンを押します。
 - 設定値に変更がない場合は、メニュー画面の表示が消えます。
 - 設定値に変更がある場合は、確認の画面が表示されます。
 - 設定値の変更を有効にするには、PLAYボタンを押します。
 - 設定値の変更を無効にするには、STOPボタンを押します。

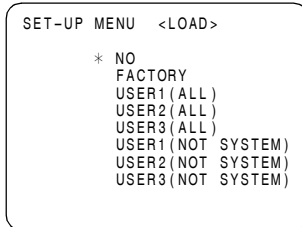


工場出荷時の設定値への戻し方

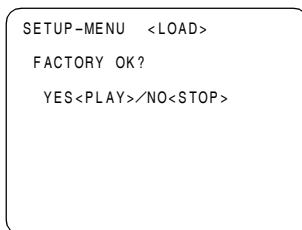
- 1 MENUボタンを押します。
ビデオモニターにセットアップメニューの大項目の選択画面が表示され、カウンター表示部に大項目名が表示されます。
- 2 RESETボタンを押します。
本機はデフォルト設定モードになり、デフォルト設定画面がビデオモニターに表示されます。



- 3 サーチスティックを上下に倒して、デフォルト設定画面のカーソルを「LOAD」の位置にして、サーチスティックを押します。
本機はLOADモードになり、ビデオモニターにLOAD画面が表示され、カウンター表示部に項目名が表示されません。

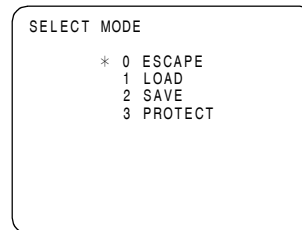


- 4 サーチスティックを上下に倒して、LOAD画面のカーソルを「FACTORY」の位置にして、サーチスティックを押します。
- カーソルを「FACTORY」に移動してこの操作を行った場合は、SYSTEMメニュー以外が工場出荷時の設定値に戻ります。
 - カーソルを「NO」に移動してこの操作を行った場合は、工場出荷時の設定値に戻さずに、メニュー画面に戻ります。
- 5 ビデオモニターに確認の画面が表示されます。
- PLAY ボタンを押すと、工場出荷時の設定になり、メニュー画面の表示が消えます。
 - STOP ボタンを押すと、設定変更をせずにメニュー画面に戻ります。

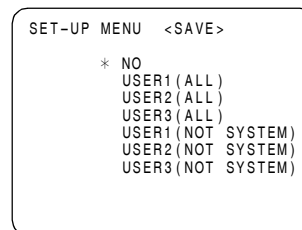


ユーザーデフォルトの設定方法

- 1 MENU ボタンを押します。
ビデオモニターにセットアップメニューの大項目の選択画面が表示され、カウンター表示部に大項目名が表示されます。
- 2 「オンスクリーンメニューでの設定方法」(27 ページ) 2~6の操作を行い、希望の設定値に変更します。
- 3 RESET ボタンを押します。
本機はデフォルト設定モードになり、デフォルト設定画面がビデオモニターに表示されます。



- 4 サーチスティックを上下に倒してデフォルト設定画面のカーソルをSAVEの位置にして、サーチスティックを押します。
本機はSAVEモードになり、ビデオモニターにSAVE画面が表示され、カウンター表示部に項目名が表示されません。



- 5 サーチスティックを上下に倒して、SAVE画面のカーソルを「USER * (ALL)」(*は1~3のいずれか)の位置にして、サーチスティックを押します。
- SYSTEMメニュー以外の設定値をメモリーする場合は、カーソルを「USER * (NOT SYSTEM)」(*は1~3のいずれか)の位置にして、サーチスティックを押します。
 - 操作を中止する場合はカーソルを「NO」に移動してサーチスティックを押します。

セットアップ (初期設定) (続き)

- 6 SAVEを確認する画面が表示されます。
- PLAYボタンを押すと、設定値をメモリーしてメニュー画面に戻ります。
 - STOPボタンを押すと、設定値をメモリーせずにメニュー画面に戻ります。

```
SET-UP MENU <SAVE>
USER1 (ALL) OK?
YES<PLAY>/NO<STOP>
```

- 7 MENUボタンを押すと、メニュー画面の表示が消えます。

ユーザーデフォルトのロード方法

- 1 MENUボタンを押します。
ビデオモニターにセットアップメニューの大項目の選択画面が表示され、カウンター表示部に大項目名が表示されます。
- 2 RESETボタンを押します。
本機はデフォルト設定モードになり、デフォルト設定画面がビデオモニターに表示されます。

```
SELECT MODE
* 0 ESCAPE
  1 LOAD
  2 SAVE
  3 PROTECT
```

- 3 サーチスティックを上下に倒してデフォルト設定画面のカーソルをLOADの位置にして、サーチスティックを押します。
本機はLOADモードになり、ビデオモニターにLOAD画面が表示され、カウンター表示部に項目名が表示されません。

```
SET-UP MENU <LOAD>
* NO
  USER1 (ALL)
  USER2 (ALL)
  USER3 (ALL)
  USER1 (NOT SYSTEM)
  USER2 (NOT SYSTEM)
  USER3 (NOT SYSTEM)
```

- 4 サーチスティックを上下に倒して、LOAD画面のカーソルを「USER * (ALL)」(*は1~3のいずれか)の位置にして、サーチスティックを押します。
- SYSTEMメニュー以外の設定値をメモリーからロードする場合は、カーソルを「USER * (NOT SYSTEM)」(*は1~3のいずれか)の位置にして、サーチスティックを押します。
 - 操作を中止する場合はカーソルを「NO」に移動してサーチスティックを押します。
- 5 LOADを確認する画面が表示されます。
- PLAYボタンを押すと、確定値をロードしてメニュー画面が消えます。
 - STOPボタンを押すと、確定値をロードせずにメニュー画面に戻ります。

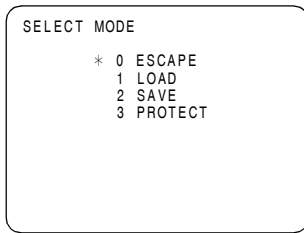
```
SET-UP MENU <LOAD>
USER1 (ALL) OK?
YES<PLAY>/NO<STOP>
```

セッアップ (初期設定) (続き)

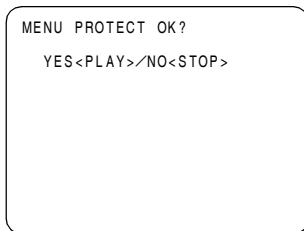
メニューのプロテクト方法

本機をメニュープロテクトモードにすることにより、フロントパネルのMENU ボタンを押してもセッアップメニューを開かなくすることができます。

- 1 MENU ボタンを押します。
ビデオモニターにセッアップメニューの大項目の選択画面が表示され、カウンター表示部に大項目名が表示されます。
- 2 RESET ボタンを押します。
本機はデフォルト設定モードになり、デフォルト設定画面がビデオモニターに表示されます。



- 3 サーチスティックを上下に倒して、デフォルト画面のカーソルを「PROTECT」の位置にして、サーチスティックを押します。
本機はメニュープロテクト設定モードになり、ビデオモニターに確認画面が表示されます。



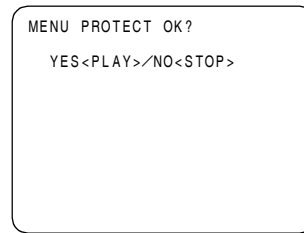
- 4 PLAY ボタンを押します。
メニュー画面が表示されます。
- 5 MENU ボタンを押します。
メニュー画面の表示が消え、メニュープロテクトモードに設定されます。
 - メニュープロテクトモードが設定されている状態でMENU ボタンを押すと、ビデオモニターには《MENU PROTECT》と表示され、メニュー画面が表示されます。

<ノート>

メニュープロテクトモード設定中に、フロントパネルのCOUNTER ボタンを押しながら、MENU ボタンを押すと、通常のメニュー操作ができます。

メニューのプロテクト解除方法

- 1 フロントパネルのCOUNTER ボタンを押しながらMENU ボタンを押します。
ビデオモニターにセッアップメニューの大項目の選択画面が表示され、カウンター表示部に大項目名が表示されます。
- 2 「メニューのプロテクト方法」の2～3の操作を行います。
本機はメニュープロテクト設定モードになり、メニュープロテクトを確認する画面がビデオモニターに表示されます。



- 3 STOP ボタンを押します。
メニュー画面が表示されます。
- 4 MENU ボタンを押します。
メニュー画面の表示が消え、メニュープロテクトモードが解除されます。

セットアップ（初期設定）（続き）

システム周波数の切り替え

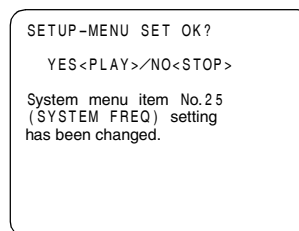
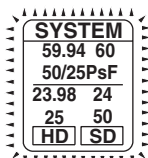
<動作モードに応じた記録・再生フォーマットおよび同期信号の選択について>

NO.25 SYSTEM FERQ	記録可能フォーマット	再生可能フォーマット	同期信号
59/60	1080/59.94i (HD_LP) 720/59.94p (HD_LP) 720/60.00p (HD_LP) (バリエーションフレームレートからの信号のみ記録可能)	1080/59.94i 1080/60i 720/59.94p 720/60.00p 480/59.94i (50M、25M、DV、DVCAM)	HD_REF (59.94Hz、60Hz) SD_REF (59.94Hz) メニュー No.031 OUT REFの設定に従います。
50i/25P	1080/50i (HD_LP) 720/50p (HD_LP)	1080/50i 720/50p 576/50i (50M、25M、DV、DVCAM) 576/25p over 50i (50M、25M、DV)	HD_REF (50Hz) SD_REF (50Hz) メニュー No.031 OUT REFの設定に従います。
23/24	なし	1080/23.98p over 59.94i [2:3 mode] 1080/23.98p over 59.94i [2:3:3:2 advance mode] 720/23.98p over 59.94p 720/24p over 60.00p 480/23.98p over 59.94i [2:3 mode] 480/23.98p over 59.94i [2:3:3:2 advance mode]	HD_REF (47.96Hz、48Hz)
25 (HD)	なし	720/25p over 60p	HD_REF (50Hz) SD_REF (50Hz) メニュー No.031 OUT REFの設定に従います。
25 (SD)	なし	720/25p over 60p	HD_REF (50Hz) SD_REF (50Hz) メニュー No.031 OUT REFの設定に従います。
50 (HD)	なし	720/50p over 60p	HD_REF (50Hz) SD_REF (50Hz) メニュー No.031 OUT REFの設定に従います。
50 (SD)	なし	720/50p over 60p	HD_REF (50Hz) SD_REF (50Hz) メニュー No.031 OUT REFの設定に従います。

システム周波数の切り替え手順

システム周波数を切り替えるには、以下の操作を行います。

- 1 メニュー No.25 SYSTEM FREQの設定値を変更します。設定値の変更の仕方については「オンスクリーンメニューでの設定方法」（27 ページ）を参照してください。
変更を行うと、フロント表示パネルのSYSTEM FREQ表示部の外枠とSYSTEMの文字が点滅を開始します。
- 2 MENUボタンを押します。
- 3 設定値の変更を有効にするための確認画面が表示されません。



- 設定値の変更を有効にするには、PLAYボタンを押します。システムが再起動し、選択したモードで起動するようになります。
- 設定値の変更を無効にするには、STOPボタンを押します。他のセットアップメニュー項目の変更も無効になります。

<ノート>

カセットが挿入されている状態でシステムを再起動すると、カセットは自動的にEJECTされます。

セットアップメニュー

表示されるメニューについて

表示されるメニューは、メニュー No.25 SYSTEM FREQ の選択によって変化します。

NO.	名称	メニュー No.25 SYSTEM FREQ						
		59/60	23/24	50i/25P	25 (HD)	25 (SD)	50 (HD)	50 (SD)
05	ENCODER SEL							
06	V LEVEL CTRL							
12	SYS H (HD)							
14	SYS SC (SD)							
15	VO SYS H (SD)							
16	SD SYS H (SD)							
18	SCH COAR (SD)							
19	SCH FINE (SD)							
20	AV PHASE							
25	SYSTEM FREQ							
26	HD SYS H ADV		No	No	No	No	No	No
001	LOCAL ENA							
002	TAPE TIMER		No		No	No	No	No
003	REMAIN SEL							
005	SUPER							
006	DISPLAY SEL							
007	CHARA H-POS							
008	CHARA V-POS							
009	CHARA TYPE							
020	SYS FORMAT		No		No	No	No	No
022	PB FORMAT							
023	FORMAT SEL							
030	HD FREQUENCY			No	No	No	No	No
031	OUT REF		No					
032	REC REF		No	No	No	No	No	No
100	SEARCH ENA							
101	SHTL MAX							
102	FF. REW MAX							
104	REF ALARM							
105	AUTO EE SEL		No		No	No	No	No
106	EJECT EE SEL							
107	EE MODE SEL		No		No	No	No	No
108	PLAY DELAY							
109	CAP. LOCK		No		No	No	No	No
110	AUTO REW							
112	FRZ MODE SEL							
114	REC INH LAMP							
115	EJECT SW INH		No		No	No	No	No
118	SP MODE INH		No		No	No	No	No
119	CONFI REC		No		No	No	No	No
134	ALARM BEEP							
140	OUTPUT		No		No	No	No	No
152	HUMID OPE							
154	AUTO BACK		No		No	No	No	No
155	AUTO REC		No		No	No	No	No
160	MEMORY MODE							
161	CTL BGN/TC BGN							
162	END							
163	REPT MODE							
180	BATTERY SEL							
181	TYPE-A NEAR							
182	TYPE-A END							
183	TYPE-B NEAR							

セットアップメニュー (続き)

NO.	名 称	メニュー No.25 SYSTEM FREQ						
		59/60	23/24	50i/25P	25 (HD)	25 (SD)	50 (HD)	50 (SD)
184	TYPE-B END							
190	V IN SEL INH		No		No	No	No	No
191	A IN SEL INH		No		No	No	No	No
202	ID SEL							
302	CONFI EDIT		No		No	No	No	No
303	AUD EDIT IN		No		No	No	No	No
304	AUD EDIT OUT		No		No	No	No	No
307	AFTER CUE-UP		No		No	No	No	No
320	EDIT RPLCE1		No		No	No	No	No
321	EDIT RPLCE2		No		No	No	No	No
322	EDIT RPLCE3		No		No	No	No	No
323	EDIT RPLCE4		No		No	No	No	No
324	EDIT RPLCEC		No		No	No	No	No
400	STILL TIMER							
401	SRC PROTECT							
402	DRUM STDBY							
403	STOP PROTECT							
500	VITC BLANK		No		No		No	
501	VITC POS-1		No		No		No	
502	VITC POS-2		No		No		No	
503	TCG MODE		No		No	No	No	No
504	RUN MODE		No		No	No	No	No
505	TCG REGEN		No		No	No	No	No
506	REGEN MODE		No		No	No	No	No
507	EXT TC SEL		No		No	No	No	No
508	BINARY GP		No		No	No	No	No
509	PHASE CORR							
510	TCG CF FLAG		No		No	No	No	No
511	DF MODE		No	No	No	No	No	No
512	TC OUT REF		No		No	No	No	No
513	VITC OUT							
514	HD EMBD VITC					No		No
515	HD EMBD LTC					No		No
601	VIDEO INT SG		No		No	No	No	No
602	SDI IN MODE		No		No	No	No	No
603	V-MUTE SEL							
604	FREEZE SEL							
615	V OUT SEL				No	No	No	No
619	V_FILTER	No	No	No	No		No	No
620	DOWNCON MODE				No		No	
621	UPCONV MODE				No	No	No	No
626	D/C ENH H				No		No	
627	D/C ENH V				No		No	
628	U/C ENH H				No	No	No	No
629	U/C ENH V				No	No	No	No
630	1080i→HD_OUT		No		No	No	No	No
632	720p→HD_OUT		No		No	No		No
636	SD→HD_OUT		No		No	No	No	No
650	STYLE							
651	HUE STYLE (SD)			No	No	No	No	No
653	Y LVL (HD)							
654	Pb LVL (HD)							
655	Pr LVL (HD)							
656	BK LVL (HD)							
658	Y LVL (SD)							
659	Pb LVL (SD)							
660	Pr LVL (SD)							

セットアップメニュー (続き)

NO.	名 称	メニュー No.25 SYSTEM FREQ						
		59/60	23/24	50i/25P	25 (HD)	25 (SD)	50 (HD)	50 (SD)
661	BK LVL (SD)							
662	V LEVEL							
663	C LEVEL							
664	HUE							
665	SETUP LVL							
676	BLK CLIP			No	No	No	No	No
680	CC (F1) BLANK		No	No	No	No	No	No
681	CC (F2) BLANK		No	No	No	No	No	No
684	EDH (SD)				No		No	
685	ESR MODE (SD)			No	No	No	No	No
686	CCR MODE (SD)			No	No	No	No	No
687	SDI INDEX 0		No		No		No	
689	COMP MODE		No	No	No	No	No	No
690	UMID REC		No		No	No	No	No
691	UMID GEN		No		No	No	No	No
692	UMID POS		No		No	No	No	No
693	GAMMA SEL							
695	BLANK LINE		No		No	No	No	No
701	CH1 IN LV		No		No	No	No	No
702	CH2 IN LV		No		No	No	No	No
706	CH1 OUT LV							
707	CH2 OUT LV							
710	MONIL OUT LV							
711	MONIR OUT LV							
712	MONI OUT							
724	REC CH3/4		No		No	No	No	No
730	REC CUE		No		No	No	No	No
731	PB FADE							
732	EMBEDDED AUD							
746	MONI CH SEL							
750	ANA CH1/2 SEL							
759	DV PB ATT		No		No	No	No	No
760	REC PT MUTE		No		No	No	No	No
762	AUD RATE CON							
765	CUE OUT SEL							
781	IN IMP SEL		No		No	No	No	No
782	EMB CH SEL							
783	AUDIO CH SEL							
784	MONI SEL INH							
880	DIF SPEED		No		No	No	No	No
882	DIF IN CH		No		No	No	No	No
883	DIF OUT CH		No		No	No	No	No
886	DIF CONFIG		No		No	No	No	No
890	DIF AUD OUT		No		No	No	No	No
891	DIF DV AUDIO		No		No	No	No	No
892	DIF SIG CMD		No		No	No	No	No
894	HD→DIF OUT		No		No	No	No	No
895	50M→DIF OUT		No		No	No	No	No
896	25M→DIF OUT		No		No	No	No	No
899	DIF SUPER		No		No	No	No	No
A02	P. ON LOAD							
A04	PF1 ASSIGN							
A05	PF2 ASSIGN							
A06	PF3 ASSIGN							

セットアップメニュー（続き）

ビデオ出力信号の各調整について

各調整の制御マトリクスを下表に示します。

なお、IEEE1394 デジタル出力には本機能は動作しません。

メニュー No.650 STYLE で「CMPNT」を選択した場合

設 定		調整項目	
05: ENCODER SEL	06: V LEVEL CTRL	653: Y LVL (HD)	658: Y LVL (SD)
		654: Pb LVL (HD)	659: Pb LVL (SD)
		655: Pr LVL (HD)	660: Pr LVL (SD)
		656: BK LVL (HD)	661: BK LVL (SD)
LOCAL	HD	本機	本機
	SD		
	BOTH		
BOTH	HD	外部エンコーダ リモート/本機	本機
	SD	本機	外部エンコーダ リモート/本機
	BOTH	外部エンコーダ リモート/本機	外部エンコーダ リモート/本機

本機：

セットアップメニューのみの調整となります。

外部エンコーダリモート/本機：

外部エンコーダリモートおよびセットアップメニューから調整可能です。

<ノート>

- 外部のエンコーダリモートコントローラーは、AJ-ER50 をご使用ください。ただし、エンコーダリモートコントローラーの「VIDEO PHASE」および「SYNC PHASE」は動作しません。
- メニュー操作、およびPF機能を使った操作中は、外部エンコーダリモートからの操作を受け付けません。

メニュー No.650 STYLE で「CMPST」を選択した場合

設 定	調整項目
05: ENCODER SEL	662: V LEVEL 663: C LEVEL 664: HUE 665: SETUP LVL
LOCAL	本機
BOTH	外部エンコーダ リモート/本機

本機：

セットアップメニューのみの調整となります。

外部エンコーダリモート/本機：

外部エンコーダリモートおよびセットアップメニューから調整可能です。

<ノート>

- 外部のエンコーダリモートコントローラーは、MT-200/2000 (MUSASHI製/推奨品) をご使用ください。ただし、エンコーダリモートコントローラーの「VIDEO PHASE」、「SYNC PHASE」、「SC PHASE」は動作しません。
メニュー操作、およびPF機能を使った操作中は、外部エンコーダリモートからの操作を受け付けません。
- メニュー No.06 V LEVEL CTRL の設定に関係なく、HD/SDを同時に制御します。

セットアップメニュー (続き)

SYSTEM

No./項目	設定内容
05 ENCODER SEL	ビデオ出力信号の各調整を本機で行うか、外部のエンコーダリモートコントローラーから行うかを設定します。 0001 LOCAL : 本機でビデオ出力信号の各調整を行います。 0002 BOTH : 本機、および外部のエンコーダリモートコントローラーから、ビデオ出力信号の各調整を行います。 <ノート> ●調整項目については「ビデオ出力信号の各調整について」(35 ページ) を参照してください。 ●外部エンコーダリモートコントローラーから調整を行った場合、各調整値はセットアップメニューの各調整項目に反映されます。ただし調整操作を終えて約1分が経過しなければ、各調整項目に反映された数値は、本機に保存されません。外部エンコーダリモートコントローラーで調整操作を行ったのち電源を切るときは、操作を終えて約1分以上待ってから、電源をお切りください。 ●IEEE1394デジタル出力には、このメニューの設定は無効になります。
06 V LEVEL CTRL	外部のエンコーダリモートコントローラーからビデオ出力レベルを調整する場合、制御する対象を選択します。 0000 HD : HDのビデオ出力レベルが調整できます。 0001 SD : SDのビデオ出力レベルが調整できます。 0002 BOTH : HD/SD共に、ビデオ出力レベルが調整できます。 <ノート> メニュー No.650 STYLEで「CMPST」が選択されている場合、この項目の設定にかかわらず「BOTH」が選択された状態になります。
12 SYS H (HD)	HD SDI出力のシステム位相を調整します。(13.5 ns ステップ) - :位相が進みます。 + :位相が遅れます。 0000 -1100 : : 1100 0 : : 2200 1100 <ノート> ●メニュー No.25 SYSTEM FREQ を50i/25P、25(HD)、25(SD)、50(HD)、50(SD) に設定しているとき、設定範囲は-1320 ~ 0 ~ 1320になります。 ●メニュー No.25 SYSTEM FREQ を23/24 に設定しているとき、設定範囲は-1375 ~ 0 ~ 1375になります。
14 SYS SC (SD)	アナログコンポジット出力およびSD SDI 出力のシステム位相を調整します。(トータル可変範囲±180° 以上) - :位相が進みます。 + :位相が遅れます。 0000 -108 : : 0108 0 : : 0216 108

No./項目	設定内容
15 VO SYS H (SD)	アナログコンポジット出力のシステム位相を調整します。(37ns ステップ) - :位相が進みます。 + :位相が遅れます。 0000 -858 : : 0858 0 : : 1716 858 <ノート> メニュー No.25 SYSTEM FREQ を50i/25P、25(HD)、25(SD)、50(HD)、50(SD) に設定しているとき、設定範囲は、-864 ~ 0 ~ 864 になります。
16 SD SYS H (SD)	SD SDI出力のシステム位相を調整します。(37ns ステップ) - :位相が進みます。 + :位相が遅れます。 0000 -858 : : 0858 0 : : 1716 858 <ノート> メニュー No.25 SYSTEM FREQ を50i/25P、25(HD)、25(SD)、50(HD)、50(SD) に設定しているとき、設定範囲は、-864 ~ 0 ~ 864 になります。
18 SCH COAR (SD)	アナログコンポジット出力のSCH (Sub Carrier to Horizontal) 位相を調整します。(90° ごとの4 ポジション) SC 位相が変化し、H 位相は変化しません。 0000 0 0001 90 0002 180 0003 270
19 SCH FINE (SD)	アナログコンポジット出力のSCH (Sub Carrier to Horizontal) 位相を調整します。(可変範囲±45° 以上) SC 位相が変化し、H 位相は変化しません。メニュー No.18 SCH COAR (SD) と合わせて±180° をカバーします。 0000 -32 : : 0032 0 : : 0064 32
20 AV PHASE	ビデオ出力に対しての、オーディオ出力の位相を調整します。(20.8 μs ステップ) - :映像に対して、音声の位相が進みます。 + :映像に対して、音声の位相が遅れます。 0000 -100 : : 0100 0 : : 0200 100

____は工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

SYSTEM (続き)

No./項目	設定内容
25 SYSTEM FREQ	<p>システム周波数の選択を行います。 なお、詳しくは「システム周波数の切り替え手順」(31 ページ)を参照してください。</p> <p>0000 59/60 : 59.94 Hz または、60 Hz のシステム周波数を選択します。</p> <p>0001 50i/25P : 50 Hz または、25 PsF のシステム周波数を選択します。 このとき、1080/25 PsF フォーマットの信号は、1080/50i フォーマットと同様に記録することや再生することが可能です。</p> <p>0002 23/24 : 23.98 Hz または 24 Hz のシステム周波数を選択します。</p> <p>0003 25(HD) : 25 Hz のシステム周波数を選択します。ただし、SD SDI 出力とアナログコンポジット出力からブラック信号が出力されます。</p> <p>0004 25(SD) : 25 Hz のシステム周波数を選択します。ただし、HD SDI 出力とアナログコンポーネント出力からブラック信号が出力されます。</p> <p>0005 50(HD) : 50 Hz のシステム周波数を選択します。ただし、SD SDI 出力とアナログコンポジット出力からブラック信号が出力されます。</p> <p>0006 50(SD) : 50 Hz のシステム周波数を選択します。ただし、HD SDI 出力とアナログコンポーネント出力からブラック信号が出力されます。</p>
26*1 HD SYS H ADV	<p>HD 出力を SD 出力に対して 90H、位相を進ませる出力を選択します。</p> <p>0000 0H : HD/SD 出力とも、HD/SD REF 出力と同位相で出力します。</p> <p>0001 90H : HD 出力は SD 出力より 90H 進んだ位相で出力します。 なお、SD REF 入力時は REF 入力と SD 出力が同位相になり、HD REF 入力時は REF 入力と HD 出力が同位相になります。</p> <p>< ノート > ● オーディオ出力および TC 出力は、HD 出力と同位相で出力します。 ● 720p 時は、120H の位相差となります。</p>

*1 表示されるメニューは、メニュー No.25 SYSTEM FREQ の設定によって異なります。くわしくは「表示されるメニューについて」(32 ページ)を参照してください。

BASIC

No./項目	設定内容
001 LOCAL ENA	<p>REMOTE/LOCAL スイッチが「REMOTE」のとき、フロントパネルで操作可能なボタンを設定します。</p> <p>0000 DIS : 全ての操作ができません。</p> <p>0001 ST&EJ : STOP と EJECT のみが操作可能です。</p> <p>0002 ENA1 : COUNTER と RESET 以外、全ての操作が可能です。</p> <p>0003 ENA2 : 全ての操作が可能です。</p>
002*1 TAPE TIMER	<p>CTL カウンター表示の時間表示を設定します。</p> <p>0000 ±12h : 12 時間表示</p> <p>0001 24h : 24 時間表示</p>
003 REMAIN SEL	<p>各端子へのテープ残量時間や、テープ総量のスーパー表示を設定します。</p> <p>0000 OFF : 表示しません。</p> <p>0001 2L : 2 行目にテープ残量時間を表示します。</p> <p>0002 1L : 1 行目にテープ残量時間を表示します。</p> <p>0003 R/TTL : 1 行目にテープ残量時間、2 行目にテープ総量を表示します。</p> <p>< ノート > 「2L」あるいは「R/TLL」に設定したとき、メニュー No.006 DISPLAY SEL で「TIME」が設定されているとテープ残量を表示しません。</p>
005 SUPER	<p>各端子へのスーパー表示を設定します。</p> <p>0000 OFF : すべての出力に表示しません。</p> <p>0001 CMPST : アナログコンポジット出力に表示します。</p> <p>0002 CMPNT : HD アナログコンポーネント出力に表示します。</p> <p>0003 SDSDI : SD SDI OUT に表示します。</p> <p>0004 HDSDI : HD SDI OUT に表示します。</p> <p>0005 CPS&SD : アナログコンポジット出力と SD SDI OUT に表示します。</p> <p>0006 CPN&HD : HD アナログコンポーネント出力と HD SDI OUT に表示します。</p> <p>< ノート > ● SUPER スイッチが OFF の場合は表示しません。 ● 1394 出力はメニュー No.899 DIF SUPER の設定に従います。 ● メニュー No.25 SYSTEM FREQ で 23.98/24Hz、25Hz (HD)、50Hz (HD) モードを選択しているときは、アナログコンポジット出力および SD SDI 出力にスーパーは表示されません。また、25Hz (SD)、50Hz (SD) モードを選択しているときは、アナログコンポーネント出力および HD SDI 出力にスーパーは表示されません。</p>

_____ は工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

BASIC (続き)

No./項目	設定内容
006 DISPLAY SEL	<p>スーパー表示内容を設定します。</p> <p>0000 TIME : データだけを表示します。 (データとは、COUNTER ボタンで選択されているCTL/TC/UB の値を示します)</p> <p>0001 T&STA : データ・動作状態を表示します。</p> <p>0002 T&S&M : データ・動作状態・モードを表示します。</p> <p>0003 T&RT : データ・REC TIME を表示します。</p> <p>0004 T&YMD : データ・REC DATE (年月日) を表示します。</p> <p>0005 T&MDY : データ・REC DATE (月日年) を表示します。</p> <p>0006 T&DMY : データ・REC DATE (日月年) を表示します。</p> <p>0007 T&UB : データ・ユーザズビットを表示します。ただしCOUNTER ボタンでUBを選択しているときは、ユーザズビットの次にタイムコードが表示されます。</p> <p>0008 T&CTL : データ・CTL を表示します。ただしCOUNTER ボタンでCTLを選択しているときは、CTLデータの次にタイムコードが表示されます。</p> <p>0009 T&T : データ・タイムコードを表示します。</p> <p><ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> ●モード表示は各フォーマットにしたがって、以下のように表示します。 DVCPRO HD-LP → DVCPRO_HD-LP DVCPRO HD → DVCPRO_HD DVCPRO50 → DVCPRO_50 DVCPRO → DVCPRO DV → DV DVCAM → DVCAM ●T&S&Mに設定したときは、ワーニングやエラーが発生するとエラーメッセージをスーパー表示します。 ●REC TIMEおよびREC DATEは、DV/DVCAMフォーマット再生時のみ表示します。DVCPRO HD-LP/DVCPRO HD/DVCPRO50/DVCPROフォーマット時は、動作モードを表示します。
007 CHARA H-POS	<p>スーパー表示の水平方向文字位置を設定します。</p> <p>0000 0 : : 0006 6 : : 0037 37</p> <p><ノート></p> <p>サーチスティックを押すと、上下左右に倒して文字位置を設定することができます。</p>
008 CHARA V-POS	<p>スーパー表示の垂直方向文字位置を設定します。</p> <p>0000 0 : : 0023 23 : : 0032 32</p> <p><ノート></p> <p>サーチスティックを押すと、上下左右に倒して文字位置を設定することができます。</p>

No./項目	設定内容
009 CHARA TYPE	<p>スーパー表示やメニューの表示タイプを設定します。</p> <p>0000 WHITE : 白文字を、黒のベタ塗りの背景で表示します。</p> <p>0001 W/OUT : 白文字を、黒の縁取りで表示します。</p>
020*1 SYS FORMAT	<p>HD REF信号を含めた記録・再生フォーマットを設定します。</p> <p>0000 1080i : 1080iモード</p> <p>0001 720p : 720Pモード</p>
022 PB FORMAT	<p>テープ再生時のフォーマットを設定します。</p> <p>0000 MANUAL : メニュー No.020 SYS FORMATおよびNo.023 FORMAT SELの設定に従います。</p> <p>0001 AUTO : テープに記録されているフォーマットに従います。</p>
023 FORMAT SEL	<p>メニュー No.22 PB FORMATが「MANUAL」に設定されている場合のフォーマットを選択します。</p> <p>0000 HD LP : DVCPRO HD-LPフォーマットを選択し、メニュー No.020 SYS FORMATの設定に従います。</p> <p>0001 HD_SP : DVCPRO HDフォーマットを選択し、メニュー No.020 SYS FORMATの設定に従います。</p> <p>0002 50M : DVCPRO50 (422) フォーマットを選択します。</p> <p>0003 25M : DVCPRO (411) フォーマットを選択します。</p> <p>0004 DV : DVフォーマットを選択します。</p> <p>0005 DVCAM : DVCAMフォーマットを選択します。</p>

*1 表示されるメニューは、メニュー No.25 SYSTEM FREQの設定によって異なります。くわしくは「表示されるメニューについて」(32 ページ)を参照してください。

<ノート>

出力する信号フォーマットをDVCPRO HD以外に設定してDV端子に外部機器を接続する場合、下記のように設定することをお勧めします。

- メニュー No.022 PB FORMAT :
MANUAL
- メニュー No.023 FORMAT SEL :
本機に挿入されているテープのフォーマット

_____は工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

BASIC (続き)

No./項目	設定内容
030*1 HD FREQUENCY	<p>フィールド周波数を設定します。</p> <p>0000 59/23 : 59.94/23.98 Hzに設定します。</p> <p>0001 60/24 : 60/24 Hzに設定します。</p> <p><ノート> ここで設定したフィールド周波数は、OUT REF設定に対応した入力がないときのみ有効になります。対応する入力がある場合は、フィールド周波数は入力のフィールド周波数と一致します。</p>
031*1 OUT REF	<p>ビデオ出力のリファレンスを選択します。</p> <p>0000 AUTO : REF端子に入力されたREF信号(HD/SD)を自動判別してリファレンスになります。REF端子に入力が無いときは、HDシリアル入力信号がリファレンスになります。REF入力信号もHDシリアル入力信号も無いときは、内部基準となります。</p> <p>0001 INPUT : 入力信号がリファレンスになります。その信号がなければ内部基準となります。</p> <p>0002 HD REF : HD REF入力信号がリファレンスになります。その信号がなければ内部基準となります。</p> <p>0003 SD REF : SD REF入力信号がリファレンスになります。その信号がなければ内部基準となります。</p> <p>0004 E-AUTO : 編集モード選択時は、「INPUT」に設定したときと同じ状態になります。編集モード以外の場合は、「AUTO」に設定したときと同じ状態になります。くわしくは「リファレンス信号について」(16ページ)を参照してください。</p>
032*1 REC REF	<p>記録する映像のフレームを同期させるリファレンスを選択します。</p> <p>0000 NORMAL : 入力されている映像信号のフレームを自動判別してリファレンスにします。</p> <p>0001 SLTC : HD SDI IN端子に入力されているタイムコードからフレームを判別してリファレンスにします。</p> <p><ノート> SLTCを選択した場合、この項目の設定を有効にするには、下記の設定が必要になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●メニュー No.25 SYSTEM FREQ : 59/60 ●メニュー No.020 SYS FORMAT : 720p ●フロントパネルのINPUT SELECTボタン : HDSDI

*1 表示されるメニューは、メニュー No.25 SYSTEM FREQの設定によって異なります。くわしくは「表示されるメニューについて」(32ページ)を参照してください。

_____は工場出荷モードです。

テープ再生時のフォーマットについて

本機で再生するテープのフォーマットは、メニューNo.020 SYS FORMAT、No.022 PB FORMAT、No.023 FORMAT SELの組み合わせにより、下表のように変わります。

022. PB FORMAT	020. SYS FORMAT	023. FORMAT SEL	再生フォーマット
MANUAL	1080i	HD_LP	DVCPRO HD-LP (1080i)
		HD_SP	DVCPRO HD (1080i)
		50M	DVCPRO50 (422)
		25M	DVCPRO (411)
		DV	DV
	720P	HD_LP	DVCPRO HD-LP (720p)
		HD_SP	DVCPRO HD (720p)
		50M	DVCPRO50 (422)
		25M	DVCPRO (411)
		DV	DV
AUTO	メニュー No.022 PB FORMAT が「AUTO」に設定されている場合、フォーマット未検出時(テープ挿入時)のフォーマットはメニューNo.023 FORMAT SELに従います。ただし、「DV」「DVCAM」が選択されている場合は、「HD_LP」が選択されているものとして動作します。		DVCPRO HD-LP (1080i/720p) / DVCPRO HD (1080i/720p) / DVCPRO50(422)/ DVCPRO(411)/ DV/DVCAM より自動検出

<ノート>

- EJECT時はメニュー No.020 SYS FORMATで選択されたフォーマットになります。
- DVCPRO P再生はできません。

セットアップメニュー (続き)

OPERATION

No./項目	設定内容
100 SEARCH ENA	サーチモード (スティック操作) への移行方法を設定します。 0000 STICK : SEARCHボタンを押すか、またはスティックを操作するとサーチモードに移行します。 0001 KEY : SEARCHボタンを押さないと、サーチモードに移行しません。
101 SHTL MAX	シャトルモードの最高速度を設定します。 0000 X8.4 : 8.4倍速 0001 X16 : 16倍速 0002 X32 : 32倍速 <ノート> HD SPモードでは、最大25倍速に自動的にリミットされます。
102 FF.REW MAX	FF、REW動作の最大速度を設定します 0000 X16 : 16倍速 0001 X32 : 32倍速 0002 X50 : 50倍速 <ノート> ● HD SPモードでは、最大25倍速に自動的にリミットされます。 ● DV/DVCAMモードでは、最大32倍速に自動的にリミットされます。
104 REF ALARM	REF VIDEOが接続されていないときの警告表示を設定します。 0000 OFF : 警告表示しません。 0001 ON : STOPランプを点滅させることで警告表示します。
105*1 AUTO EE SEL	メニュー No.140 OUTPUTが「EE」のとき、EE状態になるVTRのモードを設定します。 0000 S/F/R : STOP、FF、REWのときに、EE状態になります。 0001 STOP : STOPのときのみ、EE状態になります。
106 EJECT EE SEL	テープEJECT時の映像や音声の出力状態を設定します。 0000 EE : メニュー No.140 OUTPUTの設定にかかわらず、常にEEモード (Electric modulation to Electric play back) で出力します。 0001 BLACK : メニュー No.140 OUTPUTの設定により、出力状態が変わります。 EE: EEモードで出力します。 TAPE: 映像系はBLACK出力、音声系はミュート出力になります。 0002 GRAY : メニュー No.140 OUTPUTの設定により、出力状態が変わります。 EE: EEモードで出力します。 TAPE: 映像系はGRAY出力、音声系はミュート出力になります。 <ノート> メニュー No.25 SYSTEM FREQで23/24、25 (HD/SD)、あるいは50 (HD/SD) モードを選択している場合、「EE」を選択するとBLACKが出力されます。

No./項目	設定内容
107*1 EE MODE SEL	HD SDI入力を選択されている場合、EEモード時のHD SDIとHDアナログコンポーネント出力信号を選択します。 0000 NORMAL : 内部で信号処理した時間分、遅延した信号を出力します。 0001 THRU : 内部で信号処理を加えず、遅延なしでそのまま信号を出力します。 <ノート> ● THRU設定時は、スーパーは表示されません。 ● 編集モード選択時、ビデオの入力信号において1394、またはSGを選択したとき、内部動作は強制的に「NORMAL」になります。
108 PLAY DELAY	PLAYの立ち上がり時間をフレーム単位で設定します。 0000 0 : : 0015 15
109*1 CAP. LOCK	再生フレーミングのロックを何フィールド単位で行うかを選択します。 0000 2F 0001 4F 0002 8F <ノート> ● メニュー No.25 SYSTEM FREQを「50i/25P」に設定しているときのみ、「8F」が選択できます。 ● HD-LPやHD-SPモードでは、メニューに関係なく、編集を含む記録、再生時ともに2Fモードが選ばれます。
110 AUTO REW	テープ終端を検知したときに、テープ始端まで自動的に巻き戻す動作を設定します。 0000 OFF : テープを巻き戻しません。 0001 ON : テープを始端まで巻き戻します。
112 FRZ MODE SEL	再生画像からSTANDBY OFF (HALF LOADING) モード、およびEJECTモードへ移行したときの映像出力を設定します。 0000 DIS : 映像出力をミュートします。 0001 STBOFF : STANDBY OFF (HALF LOADING) 時、その時点での再生映像をフリーズして出力します。 0002 SOF&EJ : STANDBY OFFモード、およびEJECTモード時、その時点での再生画をフリーズして出力します。 <ノート> ● フリーズ時の状態は、メニュー No.604 FREEZE SELの設定に従います。 ● EJECTモードはセットアップNo.106 EJECT EE SELが1 (BLACK)、2 (GRAY) の設定時のみフリーズ画を出力します。

*1 表示されるメニューは、メニュー No.25 SYSTEM FREQの設定によって異なります。くわしくは「表示されるメニューについて」(32 ページ) を参照してください。

_____は工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

OPERATION (続き)

No./項目	設定内容
114 REC INH LAMP	カセットが誤消去防止状態になっているときの、REC INHIBIT LAMP の動作を設定します。 0000 LIGHT : ランプが点灯します。 0001 FLASH : ランプが点滅します。 <ノート> フロントパネルのREC INHIBITスイッチがONに設定されている場合は、本設定に関係なくREC INHIBITランプは常に点灯します。
115*1 EJECT SW INH	フロントパネルのEJECTボタン操作の制限を設定します。 0000 REC : 記録モード中は禁止します。 0001 OFF : 全ての動作モードにおいて操作が可能にします。
118*1 SP MODE INH	DVCPRO HD-LP以外のフォーマットで記録されたテープに対して、記録の禁止/許可を選択します。 0000 OFF : カセットテープへの記録を可能にします。 0001 ON : カセットテープへの記録を禁止します。
119*1 CONFI REC	ノーマル記録中(つなぎ撮り以外)に同時再生を行うかどうかを選択します。 0000 OFF : メニューNo.140 OUTPUTの設定により、ノーマル記録中の同時再生動作が切り替わります。 EE: EEモードで出力します。 TAPE: 同時再生出力 0001 ON : メニューNo.140 OUTPUTの設定にかかわらず、ノーマル記録中は常に同時再生になります。
134 ALARM BEEP	結露、テープ終端(残量約2分)、あるいはバッテリー切れが発生した場合の警告音を選択します。 0000 OFF : 警告音を鳴らしません。 0001 ON : 警告音を鳴らします。 <ノート> メニューNo.152 HUMID OPEで「ON」を選択した場合は、この項目で「ON」を選択していても、結露時の警告音は鳴りません。
140*1 OUTPUT	出力信号を選択します。 0000 EE : <STOP時> INPUT SELECTボタンで選択された入力信号を出力します。 <記録・編集時> INPUT SELECTボタンで選択された入力信号を出力します。 0001 TAPE : <STOP時> テープから再生される信号を出力します。 <記録・編集時> 同時再生信号を出力します。 <ノート> 記録・編集時の出力信号を選択するためには、メニューNo.119 CONFI REC、およびNo.302 CONFI EDITを設定してください。

No./項目	設定内容
152 HUMID OPE	結露時の動作を設定します。 0000 OFF : 結露時は動作をしません。 0001 ON : 結露時にも動作できますが、正常な動作は保証できません。 <ノート> テープダメージ等が発生する可能性がありますので、通常は「OFF」を設定してください。
154*1 AUTO BACK	つなぎ撮り機能の操作方法を設定します。(記録映像を乱れなくつなぐためにテープを数秒巻き戻す「AUTO BACK 機能」の動作を設定します) 0000 OFF : AUTO BACKしません。 0001 REC-P : REC PAUSE時にAUTO BACKし、記録待機状態で停止します。(PAUSEが解除されるとテープを助走し、記録を開始します。) 0002 ALL : 0001「REC-P」の機能に加えて、REC PLAY時にはAUTO BACKし、すぐにテープを助走して、記録を開始します。

*1 表示されるメニューは、メニューNo.25 SYSTEM FREQの設定によって異なります。くわしくは「表示されるメニューについて」(32ページ)を参照してください。

_____は工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

OPERATION (続き)

No./項目	設定内容
155*1 AUTO REC	<p>弊社カメラレコーダーからのHD SDI入力信号のRecording Markに従って自動的に記録/停止を行うかどうかを選択します。</p> <p>0000 OFF : 自動的に記録/停止を行いません。</p> <p>0001 TYPE1 : HD SDIに付加されているLTC情報内のRecording Markに従って自動的に記録/停止を行います。</p> <p>0002 TYPE2 : HD SDIに付加されているSVITC情報内のRecording Markに従って自動的に記録/停止を行います。</p> <p><ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> ● LOCAL/REMOTEスイッチはREMOTEの位置にしてください。 ● TYPE1、またはTYPE2の選択は、「弊社カメラレコーダー、記録フォーマットとRecording Mark」を参照してください。 ● TYPE1、またはTYPE2を選択し、自動記録を開始するには、本機をREC PAUSE状態にしてください。REC PAUSE状態以外では動作しません。また、自動停止を受け付けた後は、REC PAUSE状態になります。 ● 通常操作で本機が記録状態にあるときは、AUTO REC機能は動作しません。

*1 表示されるメニューは、メニューNo.25 SYSTEM FREQの設定によって異なります。くわしくは「表示されるメニューについて」(32 ページ)を参照してください。

弊社カメラレコーダー、記録フォーマットとRecording Mark

機種	記録フォーマット	Recording Mark TYPE	備考
AJ-HDC27F、H	720/**p over 60p	TYPE1	—
AJ-HDX400	1080/59.94i	— *2	
AJ-HDX400E	1080/50i	— *2	
	1080/25p over 50i	— *2	TYPE1/TYPE2への切り替えが可能です。
AJ-HDX900	720/59.94p	TYPE1	TYPE1/TYPE2はカメラレコーダーの初期設定です。TYPE1でお使いになる場合はカメラレコーダーのUB MODEをFRM RATEに、TYPE2でお使いになる場合はVITC UB MODEを設定してください。
	720/23.98p over 59.94p	TYPE1	
	720/29.97p over 59.94p	TYPE1	
	1080/59.94i	— *2	
	1080/23.98p over 59.94i	TYPE2	
	1080/29.97p over 59.94i	— *2	
	1080/50i	— *2	
	1080/25p over 50i	— *2	
	720/50p	TYPE1	
	720/25p over 50p	TYPE1	

*2 初期設定の状態では、HD SDI信号にRecording Markは重畳されていません。

No./項目	設定内容
160 MEMORY MODE	<p>リピート再生モードを設定します。</p> <p>0000 OFF : リピート再生しません。(通常動作)</p> <p>0001 M-STOP : FFやREW動作をしたときに、BEGIN点付近で停止します。</p> <p>0002 REPT1 : END点に達するとBEGIN点までREWして停止します。</p> <p>0003 CONT : END点に達するとBEGIN点までREWし、再生することを繰り返します。</p>
161 CTL BGN (または) TC BGN	<p>リピート再生モードのBEGIN点を設定します。COUNTERボタンでカウンター表示モードを、TCとCTLのいずれかに設定します。未設定のときは---:---:---:---となり、テープの始端がBEGIN点になります。</p>
162 END	<p>リピート再生モードのEND点を設定します。COUNTERボタンでカウンター表示モードを、TCとCTLのいずれかに設定します。未設定のときは---:---:---:---となり、テープの終端がEND点になります。</p>
163 REPT MODE	<p>リピート再生モードでBEGIN点に戻るときの出力映像を設定します。</p> <p>0000 FREEZE : END点での再生映像をフリーズしたままBEGIN点に戻ります。</p> <p>0001 BLACK : BLACK画のままBEGIN点に戻ります。</p> <p>0002 MENU : メニューNo.140 OUTPUTの設定に従いBEGIN点に戻ります。</p> <p><ノート> 「FREEZE」にした場合、END点がテープの終端に設定されていると、正しく再生映像をフリーズしません。映像が記録されている範囲でEND点を設定してください。</p>
180 BATTERY SEL	<p>バッテリーの種類を設定します。</p> <p>0000 NiCd12 : 12V系バッテリー1個用の設定 (NEAR:11.2V、END:10.6V)</p> <p>0001 NiCd13 : 13V系バッテリー1個用の設定 (NEAR:12.0V、END:10.6V)</p> <p>0002 NiCd14 : 14V系バッテリー1個用の設定 (NEAR:13.6V、END:10.6V)</p> <p>0003 S-LION : リチウムイオンバッテリー“BP-L90A”1個用の設定です。(NEAR:11.7V、END:10.6V)</p> <p>0004 I-LION : リチウムイオンバッテリー“ENDURA80”1個用の設定です。(NEAR:12.9V、END:12.4V)</p> <p>0005 TYPE-A : メニューNo.181 TYPE-A NEAR項目とNo.182 TYPE-A END項目で設定したバッテリー</p> <p>0006 TYPE-B : メニューNo.183 TYPE-B NEAR項目とNo.184 TYPE-B END項目で設定したバッテリー</p>

_____は工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

OPERATION (続き)

No./項目	設定内容
181*1 TYPE-A NEAR	<p>メニュー No. 180 BATTERY SEL 項目で選択した TYPE-A として使用するバッテリーの電圧が低下して、ワーニング情報としてカウンター表示を点滅させるときの電圧を設定します。(0.1 V ステップ) 複数個使用時のバッテリーや新タイプのバッテリーの設定にご使用ください。</p> <p>0000 10.6 : : 0023 12.9 : : 0044 15.0</p> <p><ノート> この項目の設定を 15.0 V 付近にした場合、AC 電源を使用しているときでも、カウンター表示が点滅することがあります。</p>
182*1 TYPE-A END	<p>メニュー No. 180 BATTERY SEL 項目で選択した TYPE-A として使用するバッテリーの電圧が低下して、本機の電源を自動的に OFF にするときの電圧を設定します。(0.1 V ステップ) 複数個使用時のバッテリーや新タイプのバッテリーの設定にご使用ください。</p> <p>0000 10.6 : : 0018 12.4 : : 0034 14.0</p>
183*1 TYPE-B NEAR	<p>メニュー No. 180 BATTERY SEL 項目で選択した TYPE-A として使用するバッテリーの電圧が低下して、ワーニング情報としてカウンター表示を点滅させるときの電圧を設定します。(0.1 V ステップ) 複数個使用時のバッテリーや新タイプのバッテリーの設定にご使用ください。</p> <p>0000 10.6 : : 0023 12.9 : : 0044 15.0</p> <p><ノート> この項目の設定を 15.0 V 付近にした場合、AC 電源を使用しているときでも、カウンター表示が点滅することがあります。</p>
184*1 TYPE-B END	<p>メニュー No. 180 BATTERY SEL 項目で選択した TYPE-B として使用するバッテリーの電圧が低下して、本機の電源を自動的に OFF にするときの電圧を設定します。(0.1 V ステップ)</p> <p>0000 10.6 : : 0018 12.4 : : 0034 14.0</p>
190*2 V IN SEL INH	<p>INPUT SELECT スイッチでのビデオ入力切り替えモードを選択します。</p> <p>0000 OFF : INPUT SELECT スイッチでのビデオ入力切り替えが可能になります。</p> <p>0001 ON : INPUT SELECT スイッチでのビデオ入力切り替えが禁止されます。</p> <p>0002 REC : 本機が記録 (編集は除く) に移行した後は、INPUT SELECT スイッチでのビデオ入力切り替えが禁止されます。</p>

No./項目	設定内容
191*2 A IN SEL INH	<p>INPUT SELECT スイッチでのオーディオ入力切り替えモードを選択します。</p> <p>0000 OFF : INPUT SELECT スイッチでのオーディオ入力切り替えが可能になります。</p> <p>0001 ON : INPUT SELECT スイッチでのオーディオ入力切り替えが禁止されます。</p> <p>0002 REC : 本機が記録 (編集は除く) に移行した後は、INPUT SELECT スイッチでのオーディオ入力切り替えが禁止されます。</p>

*1 SEARCH ボタンを押しながら、RESET ボタンを押ししても工場出荷値にはなりません。

*2 表示されるメニューは、メニュー No.25 SYSTEM FREQ の設定によって異なります。くわしくは「表示されるメニューについて」(32 ページ) を参照してください。

INTERFACE

No./項目	設定内容
202 ID SEL	<p>コントローラーに返信する ID 情報を設定します。</p> <p>0000 OTHER : DVCPRO 以外の VTR の ID 情報を設定します。</p> <p>0001 DVCPRO : DVCPRO の ID 情報を設定します。</p> <p>0002 ORIG : パナソニック製のコントローラー (AG-A850 など、別売品) との接続時のみ設定してください。</p> <p><ノート> メニュー No.25 SYSTEM FREQ で 23/24 や 25 (HD)、25 (SD)、50 (HD) または、50 (SD) を選択している場合、1 (DVCPRO) または、2 (ORIG) を設定してください。</p>

_____ は工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

EDIT

No./項目	設定内容
302*1 CONFI EDIT	編集中に同時再生を行うかどうかを選択します。 0000 OFF : 同時再生を行いません。 0001 ON : 同時再生を行います。
303*1 AUD EDIT IN	デジタルオーディオ編集IN点のつなぎ方を選択します。 0000 CUT : カット処理 0001 FADE : Vフェード処理
304*1 AUD EDIT OUT	デジタルオーディオ編集OUT点のつなぎ方を選択します。 0000 CUT : カット処理 0001 FADE : Vフェード処理
307*1 AFTER CUE-UP	キューアップ動作終了後の本機のモードを選択します。 0000 STOP : STOPモードになります。 0001 STILL : 静止画 (SHTL STILL) モードになります。 0002 STILL2 : 静止画 (VAR STILL) モードになります。
320*1 EDIT RPLCE1	デジタルオーディオのエディットプリセットをコントロールする機能のないコントローラーで、VTRのデジタルオーディオを編集するとき、コントローラーのアナログオーディオプリセットに対する各チャンネルの割り当てを設定します。 VTRのCH1のエディットプリセットをコントローラーで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0000 N-DEF : 設定しません。 0001 CH1 : アナログCH1エディットプリセットに従います。 0002 CH2 : アナログCH2エディットプリセットに従います。 0003 CH1+2 : アナログCH1またはCH2エディットプリセットに従います。
321*1 EDIT RPLCE2	メニュー No.320と同様に、本機のCH2のエディットプリセットを、コントローラーで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0000 N-DEF : 設定しません。 0001 CH1 : アナログCH1エディットプリセットに従います。 0002 CH2 : アナログCH2エディットプリセットに従います。 0003 CH1+2 : アナログCH1またはCH2エディットプリセットに従います。

No./項目	設定内容
322*1 EDIT RPLCE3	メニュー No.320と同様に、本機のCH3のエディットプリセットを、コントローラーで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0000 N-DEF : 設定しません。 0001 CH1 : アナログCH1エディットプリセットに従います。 0002 CH2 : アナログCH2エディットプリセットに従います。 0003 CH1+2 : アナログCH1またはCH2エディットプリセットに従います。
323*1 EDIT RPLCE4	メニュー No.320と同様に、本機のCH4のエディットプリセットを、コントローラーで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0000 N-DEF : 設定しません。 0001 CH1 : アナログCH1エディットプリセットに従います。 0002 CH2 : アナログCH2エディットプリセットに従います。 0003 CH1+2 : アナログCH1またはCH2エディットプリセットに従います。
324*1 EDIT RPLCEC	メニュー No.320と同様に、本機のCUEのエディットプリセットを、コントローラーで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0000 N-DEF : 設定しません。 0001 CH1 : アナログCH1エディットプリセットに従います。 0002 CH2 : アナログCH2エディットプリセットに従います。 0003 CH1+2 : アナログCH1またはCH2エディットプリセットに従います。

*1 表示されるメニューは、メニュー No.25 SYSTEM FREQの設定によって異なります。くわしくは「表示されるメニューについて」(32 ページ)を参照してください。

_____は工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

TAPE PROTECT

No./項目	設定内容
400 STILL TIMER	STOPやSTILLの状態では放置されたときの、テープ保護モードになるまでの時間を設定します。 (単位 S:秒、min:分) 0000 0.5S 0001 5S 0002 10S 0003 20S 0004 30S 0005 40S 0006 50S 0007 1min 0008 2min <ノート> DV/DVCAM/未使用テープを使用しているとき、またはEEモードでDVCPRO HD/DVCPRO50/DVCPROテープを使用しているときは、3(20s)以上を選択しても、10秒になります。
401 SRC PROTECT	サーチSTILL(JOG/VAR/SHTL)の状態では、メニューNo.400 STILL TIMERで設定した時間が経過すると、どのようなテープ保護モードに入るかを選択します。 0000 STEP: STEP FWD 0001 HALF: STANDBY OFF (HALF LOADING) <ノート> STEP FWDが設定されているときに、STILLの状態では放置された合計時間が30分(DV/DVCAMテープの場合は1分)になると、自動的にSTANDBY OFF (HALF LOADING) モードへ移行します。
402 DRUM STDBY	STANDBY OFF (HALF LOADING) 時のドラム動作を設定します。 0000 OFF ドラムの回転は停止します。 0001 ON ドラムの回転を続けます。
403 STOP PROTECT	STOP状態で放置されたときの、テープ保護モードの動作を設定します。 0000 STEP: STEP FWD 0001 HALF: STANDBY OFF (HALF LOADING) <ノート> STEP FWDが設定されているときに、STOPの状態では放置された合計時間が30分(DV/DVCAMテープの場合は1分)になると、自動的にSTANDBY OFF (HALF LOADING) モードへ移行します。

_____は工場出荷モードです。

TIME CODE

No./項目	設定内容
500*1 VITC BLANK	メニューNo.501 VITC POS-1とNo.502 VITC POS-2で設定された位置にVITC信号を出力する設定をします。 0000 BLANK: 出力しません。 0001 THRU: 出力します。 <ノート> 本設定は、SD出力(アナログコンポジット出力とSD SDI出力)にのみ有効です。
501*1*2 VITC POS-1	VITC信号の挿入位置を設定します。 <525モード> <625モード> 0000 10L 0000 7L : : 0006 16L 0004 11L : : 0010 20L 0015 22L <ノート> ●メニューNo.502 VITC POS-2やNo.692 UMID POSと同じラインは設定できません。 ●本設定は、SD出力(アナログコンポジット出力とSD SDI出力)にのみ有効です。
502*1*2 VITC POS-2	VITC信号の挿入位置を設定します。 <525モード> <625モード> 0000 10L 0000 7L : : 0008 18L 0008 13L : : 0010 20L 0015 22L <ノート> ●メニューNo.501 VITC POS-1やNo.692 UMID POSと同じラインは設定できません。 ●本設定は、SD出力(アナログコンポジット出力とSD SDI出力)にのみ有効です。
503*1 TCG MODE	内蔵タイムコードジェネレータの同期を設定します。 0000 SW: フロントパネルのTCGスイッチでREGEN、またはPRESETが選択されている場合、その選択に従います。 0001 AUTO: 動作モードによりREGEN/PREが自動で切り替わります。 編集時(つなぎ撮りを含む): REGENが選択されます。 上記以外: PREが選択されます。
504*1 RUN MODE	内蔵タイムコードジェネレータの同期を設定します。 0000 REC: 記録中のみ歩進します。 0001 FREE: 電源が投入されている間、動作モードに関係なく歩進します。
505*1 TCG REGEN	TCG(タイムコードジェネレータ)がリジェネモードのときに、リジェネする信号を設定します。 0000 TC&UB: タイムコード、ユーザーズビット共にリジェネします。 0001 TC: タイムコードのみをリジェネします。 0002 UB: ユーザーズビットのみをリジェネします。

*1 表示されるメニューは、メニューNo.25 SYSTEM FREQの設定によって異なります。くわしくは「表示されるメニューについて」(32ページ)を参照してください。

*2 SEARCHボタンを押しながら、RESETボタンを押しても工場出荷値にはなりません。

セットアップメニュー (続き)

TIME CODE (続き)

No./項目	設定内容
506*1 REGEN MODE	メニュー No.503 TCG MODEが「AUTO」に設定されている場合の編集実行において、本機がREGENモードで動作する場合の編集モードの範囲を選択します。 0000 AS&IN : アセンブルまたはインサート編集でREGENします。 0001 ASSEM : アセンブル編集でREGENします。 0002 INSRT : インサート編集でREGENします。 <ノート> つなぎ撮り時は、アセンブル編集と同等の動作になります。
507*1 EXT TC SEL	フロントパネルのTCGスイッチでEXTを選択した場合の使用外部タイムコードを選択します。 0000 EXTL : TIME CODE IN端子のLTCを使用します。 0001 SLTC : HD SDI INに入力されたシリアル信号に付加されているLTC情報を使用します。 0002 SVITC : HD SDI INに入力されたシリアル信号に付加されているVITC情報を使用します。 <ノート> フロントパネルのINPUT VIDEOスイッチで「1394」を選択したときは、IEEE1394デジタル入出力端子に入力されるタイムコードを使用します。ただし、EEモードのときと記録時は、ビデオ信号出力にVITC情報が重畳しません。また、HDシリアル出力には、LTC情報とVITC情報が重畳しません。
508*1 BINARY GP	TCGで発生するタイムコードのユーザービットの使用状況を設定します。 0000 000 : キャラクタセットを指定しない。 0001 001 : ISO646、ISO2022に準拠した8ビットキャラクタセット 0002 010 : 未定義 0003 011 : 未定義 0004 100 : 未定義 0005 101 : ページ/ライン 0006 110 : 未定義 0007 111 : 未定義
509 PHASE CORR	再生時におけるLTC出力の位相補正コントロールを設定します。 0000 OFF : 位相補正コントロールを行いません。 0001 ON : 位相補正コントロールを行います。
510*1 TCG CF FLAG	TCGのCFフラグをONにするかどうかを選択します。 0000 OFF : CFフラグをOFFにします。 0001 ON : CFフラグをONにします。

No./項目	設定内容
511*1 DF MODE	CTLおよびTCGのDF/NDFモードを設定します。 0000 DF : ドロップフレームモードを使用します。 0001 NDF : ノンドロップフレームモードを使用します。
512*1 TC OUT REF	フロントパネルのTCGスイッチがEXTのとき、外部LTC入力に対してTC OUT端子から出力されるタイムコードの位相を切り替えます。(EEモード時のみ) 0000 VOUT : 出力映像に合わせます。 0001 TC_IN : 外部タイムコード入力に合わせます。
513 VITC OUT	出力ビデオ信号に重畳するVITCの出力方法を選択します。 0000 SBC : 再生モード時、SBC領域* ^A に記録されているタイムコードをVITCとして出力します。 0001 VAUX : 再生モード時、VAUX領域* ^B に記録されているタイムコードをVITCとして出力します。 <ノート> ● HDシリアル入力により検出されたVITC情報は映像が記録される際、自動的にVAUX領域に記録されます。 ● メニュー No.25 SYSTEM FREQで23/24や25 (HD)、25(SD) や50 (HD)、50(SD) を選択してこの項目でVAUXを選択したときは、出力されるタイムコードが連続しない場合があります。
514*1 HD EMBD VITC	HDシリアル出力にVITC情報を重畳するかしないかを選択します。 0000 OFF : VITCは重畳しません。 0001 ON : VITCを重畳します。
515*1 HD EMBD LTC	HDシリアル出力にLTC情報を重畳するかしないかを選択します。 0000 OFF : LTCは重畳しません。 0001 ON : LTCを重畳します。

*1 表示されるメニューは、メニュー No.25 SYSTEM FREQの設定によって異なります。くわしくは「表示されるメニューについて」(32 ページ)を参照してください。

*A SBC (Sub Code Data) 領域とは、ヘリカルトラック上の映像および音声領域とは別に存在する領域であり、SMPTE/EBUに準拠したタイムコード、記録時間などのテープ管理情報が格納されます。従来のLTC (Linear Time Code) と同様に、巻き戻し/早送り時にもタイムコードを読むことが可能であり、また、テープ停止時でも読み出しが可能です。

*B VAUX (Video Auxiliary Data) 領域とは、ヘリカルトラック上の映像領域内に存在する領域であり、映像データに関連する情報が格納されます。

_____は工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

VIDEO

No./項目	設定内容
601*1 VIDEO INT SG	内部基準信号の種類を選択します。 0000 100%CB : 100%カラーバーを選択します。 0001 75%CB : 75%カラーバーを選択します。 0002 SMPTE : SMPTEカラーバーを選択します。 0003 ARIB : ARIBカラーバーを選択します。 0004 BLACK : ブラックを選択します。
602*1 SDI IN MODE	シリアル入力の処理方法を選択します。 0000 DR_OFF : 下位2ビットを四捨五入した上位8ビットを記録 します。 0001 DR_ON : ダイナミックラウンディングをかけた上位8ビッ ト信号を記録します。
603 V-MUTE SEL	再生中にテープのブランク (空白) 部分が検出された ときに、映像出力信号をミュートする設定を行いま す。 0000 N-MUTE : 映像出力信号をミュートしません。(フリーズする) 0001 GRAY : 映像出力信号映像をミュートして、GRAY にしま す。 0002 BLACK : 映像出力信号映像をミュートして、BLACK にしま す。 0003 NOISE : 映像出力信号映像をミュートして、NOISE にしま す。
604 FREEZE SEL	静止画面のフリーズ状態およびスロー再生の状態を 選択します。 0000 FIELD : フィールドフリーズ、フィールドスロー 0001 FRAME : フレームフリーズ、フレームスロー <ノート> IEEE1394 デジタル出力は、フォーマット変換が行 われていない場合、この項目の設定にかかわらずフ レームフリーズ、フレームスローとなります。
615*1 V OUT SEL	VIDEO OUT1 出力端子の信号を選択します。 0000 CMPNT : HD コンポーネント信号を出力します。 0001 CMPST : コンポジット信号を出力します。 <ノート> CMPST 選択時は、アナログHD コンポーネント信 号のPb、およびPrはミュートになります。
619*1 V_FILTER	ダウンコンバート時に、垂直フィルターで行う映像 の処理方法を選択します。 0000 FIELD : フィールド単位で処理します。 0001 FRAME : フレーム単位で処理します。 <ノート> この項目で「FRAME」を選択した場合、解像度は よくなりますが、映像にちらつきが目立つことがあ ります。

No./項目	設定内容
620*1 DOWNCON MODE	ダウンコンバート時の画角を設定します。 0000 CROP : サイドカットモード 0001 LT-BOX : レターボックスモード 0002 SQUEEZ : スクウィーズモード
621*1 UPCONV MODE	アップコンバート時の画角を選択します。 0000 S-PANL : サイドパネルモード 0001 CROP : 垂直方向の上部と下部のカット 0002 STRECH : ストレッチモード
626*1 D/C ENH H	ダウンコンバート時の水平方向の輪郭を強調します。 0000 0dB 0001 +1dB
627*1 D/C ENH V	ダウンコンバート時の垂直方向の輪郭を強調します。 0000 0dB 0001 +1dB
628*1 U/C ENH H	アップコンバート時の水平方向の輪郭を強調します。 0000 0dB 0001 +1dB
629*1 U/C ENH V	アップコンバート時の垂直方向の輪郭を強調します。 0000 0dB 0001 +1dB
630*1 1080i → HD_OUT	1080i テープ再生時、または1080iのEEモード時 のHD出力信号フォーマットを選択します。 0000 1080i 0001 720p <ノート> 記録中や記録の一時停止状態のときは、この項目を 変更することができません。
632*1 720p → HD_OUT	720p テープ再生時、または720pのEEモード時 のHD出力信号フォーマットを選択します。 0000 1080i 0001 720p <ノート> 記録中や記録の一時停止状態のときは、この項目を 変更することができません。
636*1 SD → HD_OUT	SDテープ (DVCPRO50/DVCPRO/DV/ DVCAM) 再生時のHD 出力信号フォーマットを選 択します。 0000 1080i 0001 720p
650 STYLE	0000 CMPNT : コンポーネントスタイルのレベル調整モード 0001 CMPST : コンポジットスタイルのレベル調整モード

*1 表示されるメニューは、メニュー No.25 SYSTEM
FREQの設定によって異なります。くわしくは「表示
されるメニューについて」(32 ページ)を参照してく
ださい。

_____は工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

VIDEO (続き)

No./項目	設定内容
651*1 HUE STYLE (SD)*DW	SD SDI出力およびアナログコンポジット出力のクロマ位相調整の回転軸を選択します。 0000 Pb-Pr : SDI(コンポーネントスタイル)のベクトルスコープ上で正円に回転します。 0001 U-V : アナログ(コンポジットスタイル)のベクトルスコープ上で正円に回転します。
653 Y LVL (HD)*UP	HD SDI、HDアナログコンポーネント出力のYレベルの調整を行います。 (-∞~0 dB~+3 dB) 0000 0.0% : : 1000 100.0% : : 1413 141.3% <ノート> メニュー No.650 STYLEが「CMPNT」に設定されているときに有効となります。
654 Pb LVL (HD)*UP	HD SDI、HDアナログコンポーネント出力のPBレベルの調整を行います。 (-∞~0 dB~+3 dB) 0000 0.0% : : 1000 100.0% : : 1413 141.3% <ノート> メニュー No.650 STYLEが「CMPNT」に設定されているときに有効となります。
655 Pr LVL (HD)*UP	HD SDI、HDアナログコンポーネント出力のPRレベルの調整を行います。 (-∞~0 dB~+3 dB) 0000 0.0% : : 1000 100.0% : : 1413 141.3% <ノート> メニュー No.650 STYLEが「CMPNT」に設定されているときに有効となります。
656 BK LVL (HD)*UP	HD SDI、HDアナログコンポーネント出力のブラックレベルの調整を行います。 50 -10.0% : : 150 0.0% : : 250 +10.0% <ノート> メニュー No.650 STYLEが「CMPNT」に設定されているときに有効となります。
658 Y LVL (SD)*DW	SD SDI出力およびアナログコンポジット出力のYレベルの調整を行います。(-∞~0 dB~+3 dB) 0000 0.0% : : 1000 100.0% : : 1413 141.3% <ノート> メニュー No.650 STYLEが「CMPNT」に設定されているときに有効となります。

No./項目	設定内容
659 Pb LVL (SD)*DW	SD SDI出力およびアナログコンポジット出力のPBレベルの調整を行います。(-∞~0 dB~+3 dB) 0000 0.0% : : 1000 100.0% : : 1413 141.3% <ノート> メニュー No.650 STYLEが「CMPNT」に設定されているときに有効となります。
660 Pr LVL (SD)*DW	SD SDI出力およびアナログコンポジット出力のPRレベルの調整を行います。(-∞~0 dB~+3 dB) 0000 0.0% : : 1000 100.0% : : 1413 141.3% <ノート> メニュー No.650 STYLEが「CMPNT」に設定されているときに有効となります。
661 BK LVL (SD)*DW	SD SDI出力およびアナログコンポジット出力のブラックレベルの調整を行います。 50 -10.0% : : 150 0.0% : : 250 +10.0% <ノート> メニュー No.650 STYLEが「CMPNT」に設定されているときに有効となります。
662 V LEVEL	HD SDI、HDアナログコンポーネント、SD SDI、およびアナログコンポジット出力のビデオレベルの調整を行います。(-∞~0 dB~+6 dB) 0000 0.0% : : 1000 100.0% : : 2000 200.0% <ノート> メニュー No.650 STYLEが「CMPST」に設定されているときに有効となります。
663 C LEVEL	HD SDI、HDアナログコンポーネント、SD SDI、およびアナログコンポジット出力のクロマレベルの調整を行います。(-∞~0 dB~+3 dB) 0000 0.0% : : 1000 100.0% : : 1413 141.3% <ノート> メニュー No.650 STYLEが「CMPST」に設定されているときに有効となります。

*1 表示されるメニューは、メニュー No.25 SYSTEM FREQの設定によって異なります。くわしくは「表示されるメニューについて」(32 ページ)を参照してください。

*UPはHD出力時(HDテープ再生またはアップコン出力時)
*DWはSD出力時(SDテープ再生またはダウンコン出力時)

____は工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

VIDEO (続き)

No./項目	設定内容
664 HUE	HD SDI、HD アナログコンポーネント、SD SDI、およびアナログコンポジット出力のクロマ位相の調整を行います。(約-30° ~+30°) 0000 -31.0 : 0062 0.0 : 0124 31.0 <ノート> ●メニュー No.650 STYLEが「CMPST」に設定されているときに有効となります。 ●メニュー No.25 SYSTEM FREQで50 Hzモードまたは25 Hzモードを選択している場合 ◆HD SDI出力の調整はできません。 ◆SD SDIおよびVIDEO出力の調整はSDフォーマットのテープを再生しているとき、またはメニュー No.630 1080i→HD_OUT、No.631 720p→HD_OUTでクロスコンバート設定をしているときのみ可能です。
665 SETUP LVL	HD SDI、HD アナログコンポーネント、SD SDI、およびアナログコンポジット出力のセットアップレベルの調整を行います。 (-10° ~+10°) 50 -10.0% : 150 0.0% : 250 +10.0% <ノート> メニュー No.650 STYLEが「CMPST」に設定されているときに有効となります。
676*1 BLK CLIP	アナログコンポジット出力とSD SDI出力のY(輝度)信号に対して、ペダスタル以下の信号をクリップする機能です。 0000 OFF: クリップしません。 0001 ON: クリップします。
680*1 CC (F1) BLANK*DW	第1フィールドのクローズドキャプション信号のON/OFFを選択します。 0000 BLANK: 強制ブランキングします。 0001 THRU: ブランキングしません。
681*1 CC (F2) BLANK*DW	第2フィールドのクローズドキャプション信号のON/OFFを選択します。 0000 BLANK: 強制ブランキングします。 0001 THRU: ブランキングしません。
684*1 EDH (SD)*DW	SD SDI出力にEDHの重畳を設定します。 0000 OFF: 重畳しません。 0001 ON: 重畳します。
685*1 ESR MODE (SD)*DW	再生回路におけるエッジサブキャリアリダクション(ESR)の動作モードを選択します。 0000 OFF: 強制的にOFFします。 0001 AUTO: VTR動作に応じて自動的にON/OFFされます。
686*1 CCR MODE (SD)*DW	再生時のクロスカラー処理を選択します。 0000 OFF: そのまま出力します。 0001 ON: クロスカラーを軽減することができます。

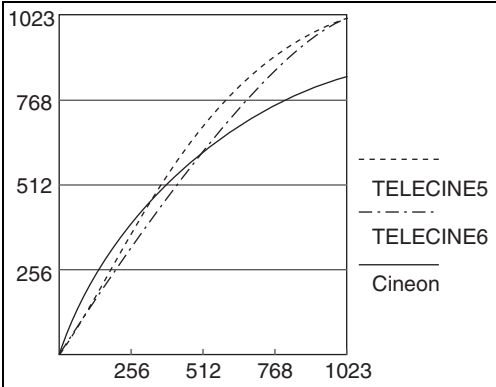
No./項目	設定内容
687*1 SDI INDEX 0*DW	VIDEO INDEX信号をSD SDI出力に重畳するかどうかを選択します。 0000 OFF: VIDEO INDEX信号をSD SDI出力信号に重畳しません。 0001 ON: VIDEO INDEX信号をSD SDI出力信号に重畳します。
689*1 COMP MODE	記録時に行う映像の圧縮処理方法を選択します。 0000 NORMAL: 通常の圧縮処理で記録します。 0001 DARK: 約10 IRE (70 mV) 以下の暗い部分に発生する圧縮映像ひずみを少なくして記録します。 <ノート> ●本設定は、720pモードで記録する場合に有効になります。 ●この項目で「DARK」を選択した場合、COMPランプが点灯します。
690*1 UMID REC	UMID情報をテープに記録するかどうかを選択します。 0000 OFF: テープへ記録しません。EE出力もブランキングされます。 0001 ON: メニュー No.691 UMID GENで設定されたUMIDを記録します。入力信号にBasic UMIDが存在しないときは、新しく生成した本機のBasic UMIDを記録します。 <ノート> 本機でUMID情報を書き換えることはできません。
691*1 UMID GEN	メニュー No.690 UMID RECが「ON」に設定されているときに記録するUMIDを選択します。 0000 INT: 常に新しく生成した本機のBasic UMIDを記録します。 0001 EXT: 入力信号のUMIDを記録します。入力信号にUMIDが存在していないときは、本機で生成したBasic UMIDを記録します。 <ノート> テープに記録するUMID情報のSource Packには、このメニューの設定に関係なく、入力信号のSource Packが記録されます。

*1 表示されるメニューは、メニュー No.25 SYSTEM FREQの設定によって異なります。くわしくは「表示されるメニューについて」(32 ページ)を参照してください。

*DWはSD出力時(SDテープ再生またはダウンコン出力時) _____は工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

VIDEO (続き)

No./項目	設定内容
692*1 UMID POS	UMID情報を重畳するラインを設定します。 0000 BLANK 0001 12L ⋮ 0006 17L ⋮ 0008 19L <ノート> ●メニューNo.501 VITC POS-1とNo.502 VITC POS-2で選択したラインは選択できません。 ●SEARCHボタンを押しながら、RESETボタンを押しても、工場出荷値には戻りません。 ●テープ上に記録されたメタデータは、UMID情報を優先して出力します。メタデータを出力する際は、元の多重していたライン以外に設定するか、「BLANK」を選択してください。
693 GAMMA SEL	ガンマ補正の選択を行います。 0000 OFF : ガンマ補正を行いません。 0001 GAMMA1 : VaricamのシネガンマFilmRECモードで撮影された映像を、フィルム質感の映像(AJ-GBX27GにおけるHD Gamma CorrectorのTelecine5相当)に補正します。 0002 GAMMA2 : VaricamのシネガンマFilmRECモードで撮影された映像を、フィルム質感の映像(AJ-GBX27GにおけるHD Gamma CorrectorのTelecine6相当)に補正します。 0003 GAMMA3 : VaricamのシネガンマFilmRECモードで撮影された映像を、フィルムレコーディングに適したCineonカーブに変換します。  <ノート> ●ガンマ補正は、以下のときに有効になります。 ●VTR動作モードがVV (TAPE) で、システムフォーマットに720pが表示されている場合。 ただし、720p→1080iのクロスコンバート時、SD出力にはガンマ補正は行いません。 ●この項目を「ON」に設定した場合、フロントパネルのGAMMAランプは、常時点灯します。 ●本機の電源をOFFにすると、このGAMMA設定も「OFF」に戻ります。またユーザーデフォルトの設定も「OFF」に戻ります。 ●1394出力には、この項目は効果がありません。

No./項目	設定内容
695*1 BLANK LINE*DW	SD出力のビデオ信号における垂直ブランキング期間のブランキングON/OFFを選択します。 0000 BLANK : 全ライン強制ブランキングします。 0001 THRU : 全ラインブランキングしません。 0002 MANU : 各ラインごとにブランキングのON/OFFを選択します。 <ノート> ●「MANU」設定時、STOPボタンを押すとサブ画面に移り、各ラインに対してON/OFFを選択できます。サブ画面から戻るには、再度STOPボタンを押します。 ●この項目でブランキングするよう選択されたラインは、SDテープ再生時にアップコンされる前に同様にブランキングします。
サブ画面 (59/60Hzモード)	
00 LINE 10&273 : 12 LINE 22&285	0000 BLANK : 強制ブランキングします。 0001 THRU : ブランキングしません。
サブ画面 (50Hzモード)	
00 LINE 7&320 : 15 LINE 22&335	0000 BLANK : 強制ブランキングします。 0001 THRU : ブランキングしません。

*1 表示されるメニューは、メニュー No.25 SYSTEM FREQの設定によって異なります。くわしくは「表示されるメニューについて」(32 ページ)を参照してください。

*DWはSD出力時(SDテープ再生またはダウンコン出力時) _____は工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

AUDIO

No./項目	設定内容
701*1 CH1 IN LV	アナログオーディオ入力 (CH1) の基準レベルを設定します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB 0003 -60dB
702*1 CH2 IN LV	アナログオーディオ入力 (CH2) の基準レベルを設定します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB 0003 -60dB
706 CH1 OUT LV	アナログオーディオ出力 (CH1) の基準レベルを設定します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
707 CH2 OUT LV	アナログオーディオ出力 (CH2) の基準レベルを設定します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
710 MONIL OUT LV	オーディオモニター出力 (Lch) の基準レベル切替えを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
711 MONIR OUT LV	オーディオモニター出力 (Rch) の基準レベル切替えを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
712 MONI OUT	オーディオモニター出力の音量を、ヘッドホン用の音量調整つまみに連動させるか連動させないかを選択します。 0000 UNITY : 音量調整つまみの位置に関係なく、固定されたレベルで出力します。 0001 VAR : 音量調整つまみに連動します。
724*1 REC CH3/4	オーディオのCH3/4トラックに記録する入力信号を選択します。 0000 CH1/2 : オーディオ入力のCH1/2 0001 MUTE : ミュート <ノート> ●この項目はアナログ入力時のみ有効です。 ●アナログ入力選択時のCH5~8には、CH1~4と同じものが記録されます。

*1 表示されるメニューは、メニュー No.25 SYSTEM FREQの設定によって異なります。くわしくは「表示されるメニューについて」(32 ページ)を参照してください。

<ノート>

メニュー No.746 MONI CH SEL メニューで「PCM」を選択したとき、シャトルモードではモニター音声が出力されていても、本線系出力 (SDI出力とアナログオーディオ出力 CH1/2)はミュートになるため、オーディオレベルメーターの表示は振れません。

No./項目	設定内容
730*1 REC CUE	CUEトラックに記録する入力信号を設定します。 0001 CH1 : オーディオ入力CH1 0002 CH2 : オーディオ入力CH2 0003 CH3 : オーディオ入力CH3 0004 CH4 : オーディオ入力CH4 0005 CH5 : オーディオ入力CH5 0006 CH6 : オーディオ入力CH6 0007 CH7 : オーディオ入力CH7 0008 CH8 : オーディオ入力CH8 0009 CH1+2 : オーディオ入力CH1とCH2のミックス信号 0010 CH3+4 : オーディオ入力CH3とCH4のミックス信号 0011 CH5+6 : オーディオ入力CH5とCH6のミックス信号 0012 CH7+8 : オーディオ入力CH7とCH8のミックス信号 0013 CH1~8 : オーディオ入力CH1からCH8全てのミックス信号 <ノート> ●アナログ入力時はメニュー No.724 REC CH3/4と連動します。 ●1394入力時には、CUEトラックに音声は記録されません。(ミュート)
731 PB FADE	再生時における、音声編集点 (IN点、OUT点) や、つなぎ撮り点の処理を設定します。 0000 AUTO : 記録時の状態に従います。 0001 CUT : 強制的にカット処理を行います。 0002 FADE : 強制的にフェード処理を行います。
732 EMBEDDED AUD	HD SDI出力とSD SDI出力にオーディオデータの重畳を設定します。 0000 OFF : 重畳しません。 0001 ON : 重畳します。
746 MONI CH SEL	モニター出力の選択を行います。 0000 MANU : MONITOR SEL ボタンで選択されている信号を出力します。 0001 AUTO : - 1.0未満~+ 1.0倍速の範囲はPCM AUDIOを出力し、それぞれの速度ではCUE AUDIOを出力します。 0002 PCM : - 32~+ 32倍速の範囲はPCM AUDIOを出力します。 <ノート> 本機フロントパネルのMONITOR SELボタンによるL/R選択がCUEの場合は、上記メニュー設定に関係なく、すべてのスピードでCUE AUDIOが出力されます。 また、DV/DVCAMテープ再生時には、この項目の設定にかかわらず、「MANU」で動作します。

_____は工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

AUDIO (続き)

No./項目	設定内容
750 ANA CH1/2 SEL	アナログオーディオ出力端子CH1/CH2に出力する信号のチャンネルを選択します。 0000 CH1/2 0001 CH3/4 0002 CH5/6 0003 CH7/8
759*1 DV PB ATT	DVフォーマット再生時のオーディオ出力レベルを選択します。 0000 OFF : オーディオ出力レベルを減衰しません。 0001 ON : オーディオ出力レベルを減衰します。
760*1 REC PT MUTE	DV/DVCAMフォーマット再生時、記録のつなぎ目でオーディオをミュートするかどうかを選択します。 0000 OFF : ミュートしません。 0001 ON : ミュートします。
762 AUD RATE CON	デジタルオーディオ出力部のレートコンバータを通さずに(デジタルフィルターをかけない)再生を行うことができます。 0000 OFF : レートコンバータを通さずに再生します。 0001 ON : レートコンバータを通して再生します。 <ノート> CH1～CH8が同時にON/OFF制御されます。各CHごとの設定はできません。
765 CUE OUT SEL	本線系オーディオ出力への、アナログCUE信号出力を設定します。 0000 OFF : アナログCUE信号を出力しません。 -1.0未満～+1.0倍速の範囲はPCM音声を出力し、それ以外の速度は無音声となります。 0001 ON : アナログCUE信号を出力します。 -1.0未満～+1.0倍速の範囲はPCM音声を出力し、それ以外の速度はアナログCUE信号を出力します。
781*1 IN IMP SEL	アナログオーディオ入力のインピーダンスを設定します。 0000 600 : 600Ω 0001 HIGH : Highインピーダンス <ノート> 本設定に関係なく、メニュー No.701、No.702で「-60dB」を設定したときは3KΩに設定されます。
782 EMBD CH SEL	SD-SDI出力に多重するチャンネルを設定します。 0000 CH1-4 : 0001 CH5-8 : <ノート> DVCPRO HD (LP) 以外のテープを再生した場合は、常にCH1～4が多重されます。

No./項目	設定内容
783 AUDIO CH SEL	フロントのオーディオボリューム制御およびオーディオレベルメータ表示の対象チャンネルを選択します。 0000 CH1-4 : CH1～CH4を選択します。 0001 CH5-8 : CH5～CH8を選択します。
784 MONI SEL INH	フロントパネルのMONITOR SELECTボタン操作の許可/禁止を選択します。 0000 OFF : 操作が可能になります。 0001 ON : 操作が禁止されます。 0002 ON1 : FULL表示モード時は操作が禁止され、FINE表示モード時のみ操作が可能になります。

*1 表示されるメニューは、メニュー No.25 SYSTEM FREQの設定によって異なります。くわしくは「表示されるメニューについて」(32 ページ)を参照してください。

_____は工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

DIF

No./項目	設定内容
880*1 DIF SPEED	IEEE1394デジタルインターフェイス出力の転送速度の設定。 0000 S100 : 100Mbps 0001 S200 : 200Mbps 0002 S400 : 400Mbps <ノート> この項目でS100を選択したときは、DVCPRO HDフォーマット信号の入出力を行うことができません。
882*1 DIF IN CH	入力チャンネルの設定。 0000 0 : : 0063 63 : 指定値で固定。 0064 AUTO : 指定値で固定しません。 電源がONの時、入力チャンネルは63に初期化されます。
883*1 DIF OUT CH	出力チャンネルの設定。 0000 0 : : 0063 63 : 指定値で固定。 0064 AUTO : 指定値で固定しません。 電源がONの時、入力チャンネルは63に初期化されます。
886*1 DIF CONFIG	拡張用のメニュー。通常はDFLTでご使用ください。 0000 DFLT 0001 1 : : 0255 255
890*1 DIF AUD OUT	DVCPRO HDテープや50Mフォーマットのテープを再生して、IEEE1394デジタルインターフェイスからDVフォーマットで出力するとき、またはオーディオ信号が4chモードのDVテープを再生し、メニューNo.891 DIF DV AUDIOが「LOCK48」に設定されているときに出力する音声チャンネルの設定を行います。 0000 CH1/2 : CH1とCH2 0001 CH3/4 : CH3とCH4
891*1 DIF DV AUDIO	DVテープを再生し、DVフォーマットで出力する場合の強制オーディオモード変換の設定を行います。 0000 THRU : 通常 (スルー)。 0001 LOCK : 強制的にLOCKモードに変換する。(周波数の変換はしない。) 0002 LOCK48 : 強制的に48kHz/2CH/LOCKに変換する。

No./項目	設定内容
892*1 DIF SIG CMD	IEEE1394デジタルインターフェイスで接続した外部機器から、フォーマットを確認する信号が送られた場合に、どう返答するかを設定します。 0000 50M : 強制的にDVCPRO50を返答します。 0001 25M : 強制的にDVCPROを返答します。 0002 DV : 強制的にDVを返答します。 0003 AUTO : IEEE1394デジタルインターフェイスから出力されている信号フォーマットと、同じフォーマットを返答します。 <ノート> 50M、25M、DVの信号フォーマットでノンリニア編集システムに接続する場合、ノンリニア編集システムが誤動作する場合があります。その場合は、本メニューで接続した信号フォーマットに対応したフォーマット信号が返答されるように設定した後、システムを起動させてください。
894*1 HD → DIF OUT	DVCPRO HDテープを再生したときに、IEEE1394デジタルインターフェイスから出力する信号フォーマットの設定を行います。 0000 HD : DVCPRO HD 0001 50M : DVCPRO50 0002 DV : DV
895*1 50M → DIF OUT	50Mフォーマットのテープを再生したときに、IEEE1394デジタルインターフェイスから出力する信号フォーマットの設定を行います。 0000 50M : DVCPRO50 0001 DV : DV <ノート> この項目でDVを選択したときは、垂直ブランキング期間のタイムコード (VITC) 信号とクローズドキャプション信号は伝送されますが、垂直ブランキング期間に含まれる他の信号は、伝送されません。
896*1 25M → DIF OUT	25Mフォーマットのテープを再生したときに、IEEE1394デジタルインターフェイスから出力する信号フォーマットの設定を行います。 0000 25M : DVCPRO 0001 DV : DV
899*1 DIF SUPER	フォーマット変換 (HD → 50M、HD → DV、50M → DV、25M → DV) 時に、IEEE1394デジタルインターフェイスから出力するスーパー表示の設定を行います。 0000 OFF : スーパーを表示しない。 0001 ON : スーパーを表示する。 <ノート> TCRのみを表示します。

*1 表示されるメニューは、メニュー No.25 SYSTEM FREQの設定によって異なります。くわしくは「表示されるメニューについて」(32 ページ)を参照してください。

_____は工場出荷モードです。

セットアップメニュー（続き）

MENU

No./項目	設定内容
A02 P.ON LOAD	電源を入れたときに、選択したユーザーデフォルトの内容をロードして起動します。 0000 OFF： 前回の設定値で起動します。 0001 USER1： ユーザー 1 をロードして起動します。 0002 USER2： ユーザー 2 をロードして起動します。 0003 USER3： ユーザー 3 をロードして起動します。 <ノート> SYSTEMメニューの設定値はロードされません。
A04 PF1 ASSIGN	PF1 ボタンにセットアップメニューの項目を登録します。 <ノート> 一部メニューの項目は登録できません。くわしくは「PF (Programmable Function) 機能」(23 ページ) を参照してください。
A05 PF2 ASSIGN	PF2 ボタンにセットアップメニューの項目を登録します。 <ノート> 一部メニューの項目は登録できません。くわしくは「PF (Programmable Function) 機能」(23 ページ) を参照してください。
A06 PF3 ASSIGN	PF3 ボタンにセットアップメニューの項目を登録します。 <ノート> 一部メニューの項目は登録できません。くわしくは「PF (Programmable Function) 機能」(23 ページ) を参照してください。

_____は工場出荷モードです。

タイムコード/ユーザーズビットについて

タイムコード

タイムコードは、タイムコードジェネレーター（タイムコード信号発生器）によって発生されるタイムコード信号をテープ上に記録し、タイムコードリーダー（タイムコード信号読取器）でその値を読み取り、テープの絶対位置を時：分：秒：フレーム単位で表示するときに使用します。タイムコードは、ヘリカルトラックのサブコード領域（データ領域）に書き込まれます。VTRの再生速度が停止モード→スロー再生→高速再生（約50倍速、ただしDVCPROテープ使用時は約100倍速）まで読み取ることができます。タイムコード値はディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。

TCR 00 : 07 : 04 : 24
↑ ↑ ↑ ↑
時 分 秒 フレーム

ユーザーズビット

ユーザーズビットは、タイムコード信号のうちでユーザーに開放された32ビット（8桁）の情報枠のことで、オペレータナンバーなどを記録することができます。ユーザーズビットに使用できる数字（文字）は0～9とA B C D E Fです。

内部タイムコードの設定

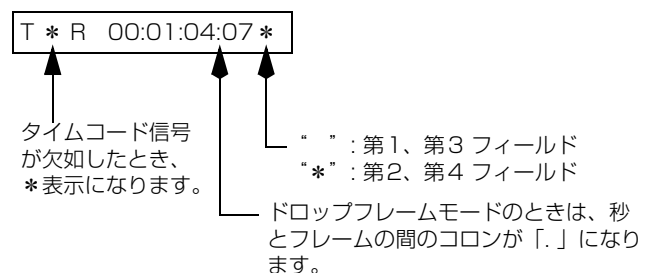
- 1 VTRを停止モードにします。
- 2 COUNTERボタンで「TC」を選択します。
- 3 メニュー No.504 RUN MODEでタイムコードジェネレーターの歩進方法を設定します。
REC :
記録中のときに歩進させます。
FREE :
電源が投入されている間、動作モードに関係なく歩進させます。
- 4 TCGスイッチでリジェネモードを設定します。
REGEN :
下地のタイムコードの連続性を保ちます。（メニューのメニューNo.505 TCG REGENで、詳細な設定もできますので参照してください。）
PRESET :
TC PRESET ボタンで設定された値から記録を開始します。
- 5 タイムコード/ユーザーズビットのプリセットは以下のように操作します。
 - ① TCGスイッチを「PRESET」に設定します。
 - ② COUNTERボタンでTCまたはUBを選択します。
 - ③ TC PRESET ボタンを押すと設定モードに移行して、カウンタ表示の設定桁が点滅します。
 - ④ サーチスティックを操作してプリセット値を設定します。
左、右→ 桁移動 上、下→ 設定値変更
・ RESET ボタンを押すとプリセット値を0にリセットします
 - ⑤ TC PRESET ボタンを押すとセットされます。

外部タイムコードの設定

- 1 VTRを停止モードにします。
 - 2 COUNTERボタンで「TC」を選択します。
 - 3 TCGスイッチの位置を「EXT」にします。（外部タイムコードの選択）
 - 4 メニュー No.507 EXT TC SELで以下の設定ができます。
EXT_L :
リアパネルのTIME CODE IN端子（BNC）に入力されるLTC信号が、タイムコードとして記録されます。
SLTC :
入力ビデオ信号のSLTC タイムコードが記録されません。
SVITC :
入力ビデオ信号のSVITC タイムコードが記録されません。
- <ノート>
LTC 信号は、ビデオ信号と同期している必要があります。

タイムコード/ユーザーズビットの再生

- 1 VTRを停止モードにします。
 - 2 COUNTERボタンで「TC」または、「UB」を選択します。
 - 3 PLAYボタンを押します。
再生が開始され、タイムコードがディスプレイに表示されます。
SUPERスイッチの位置が「ON」の場合、VIDEO MON 端子からの映像信号に、タイムコード値がスーパーインポーズされます。
- <ノート>
タイムコード信号が欠如したときには、CTL信号で自動的に補います。ディスプレイは、以下のようになります。



タイムコード/ユーザズビットについて (続き)

電源供給がない場合のタイムコードについて

電源供給がないときも、バックアップ機能が働いて、タイムコードジェネレーターは長時間 (約 1 年間) 動作を続けます。また、電源供給がない場合の精度は、月差約 ± 30 秒程度です。

<ノート>

- タイムコードジェネレーターが動作モードに関係なく歩進している下記の場合、バックアップ機能は働きます。
 - ◆ フロントパネルのTCGスイッチを「PRESET」に設定し、メニュー No.504 RUN MODEを「FREE」に設定した場合
 - ◆ フロントパネルのTCGスイッチを「EXT」に設定し、メニュー No.507 EXT TC SELで設定した外部タイムコード入力、リアパネルの端子から外した場合
- メニュー No.25 SYSTEM FREQの設定を変更した場合、歩進データはクリアされます。

本機で記録するタイムコード

TCGスイッチ	メニュー No.507 EXT TC SEL	ビデオ入力信号 選択	記録するタイムコード	
			SBC領域	VAUX領域
INT (REGEN/ PRESET)	---	1394	内部TCG値 (下表参照)	IEEE1394デジタル入力の タイムコード (VAUX領域)
		HD SDI		入力ビデオ信号のSVITC*3
EXT	EXT_L	1394	IEEE1394デジタル入力の タイムコード (SBC領域)	IEEE1394デジタル入力の タイムコード (VAUX領域)
		HD SDI	TIME CODE IN端子入力の タイムコード*1	入力ビデオ信号のSVITC*3
	SLTC	1394	IEEE1394デジタル入力の タイムコード (SBC領域)	IEEE1394デジタル入力の タイムコード (VAUX領域)
		HD SDI	入力ビデオ信号のSLTC*2	入力ビデオ信号のSVITC*3
	SVITC	1394	IEEE1394デジタル入力の タイムコード (SBC領域)	IEEE1394デジタル入力の タイムコード (VAUX領域)
		HD SDI	入力ビデオ信号のSVITC*2	入力ビデオ信号のSVITC*3

- *1 TIME CODE IN端子入力から信号が検出できない場合は、内部TCG値となります。
 *2 入力ビデオ信号からSLTC、SVITCが検出できない場合は、内部TCG値となります。
 *3 入力ビデオ信号からSVITCが検出できない場合は、未記録となります。

TCGスイッチ	メニュー			記録するタイムコード						
	No.503 TCG MODE	No.505 TCG REGEN	No.506 REGEN MODE	通常記録時		アッセンブル編集時 つなぎ撮り時*5		インサート編集時 (タイムコード選択)		
				TC	UB	TC	UB	TC	UB	
REGEN	SW	TC&UB	---	REGEN						
				REGEN	PRESET	REGEN	PRESET	REGEN	PRESET	
				PRESET	REGEN	PRESET	REGEN	PRESET	REGEN	
PRESET		---		PRESET						
REGEN/ PRESET*4	AUTO	TC&UB	AS&IN	PRESET	REGEN		REGEN		PRESET	
			ASSEM		PRESET		REGEN			
			INSRT		REGEN	PRESET	REGEN	PRESET		
		AS&IN	PRESET		REGEN	PRESET	REGEN	PRESET		
		ASSEM	REGEN							
		INSRT	REGEN		PRESET	REGEN	PRESET			
	UB	AS&IN	REGEN				PRESET			
		ASSEM	REGEN		PRESET		REGEN			
		INSRT	PRESET		REGEN					

- *4 メニュー No.503 TCG MODEが「AUTO」に設定されているとき、TCGスイッチの「REGEN」および「PRESET」選択は無効になります。
 *5 メニュー No.154 AUTO BACKが「OFF」に設定されているときのつなぎ撮りは、通常記録になります。

スーパーインポーズ画面

コントロール信号やタイムコードなどが、略称文字で表示されます。



省略文字

- CTL： コントロール信号のカウント値
- TCR： SBC領域に記録されたタイムコードデータ
- TCR.： VAUX領域に記録されたタイムコードデータ
- UBR： SBC領域に記録されたユーザーズビットデータ
- UBR.： VAUX領域に記録されたユーザーズビットデータ
- TCG： タイムコードジェネレータのタイムコードデータ
- UBG： タイムコードジェネレータのユーザーズビットデータ

<ノート>

- データがテープから正しく読み取れなかったときは、「T * R」「T * R.」「U * R」「U * R.」が表示されます。
- メニュー No.25 SYSTEM FREQで23.98/24Hz、25Hz (HD/SD)、50Hz (HD/SD)モードを選択しているとき、CTLおよびTCR.の表示は「-:-:-:-:-:-」になります。

表示文字

スーパーインポーズの表示文字は、メニュー No.009 CHARA TYPEで文字の背景を変えることができます。



モニターテレビ



モニターテレビ

表示位置

スーパーインポーズの表示位置は、メニュー No.007 CHARA H-POS、008 CHARA V-POSで変更することができます。



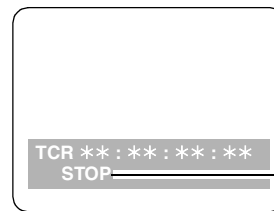
モニターテレビ



モニターテレビ

動作モード

メニュー No.006 DISPLAY SELでVTRの動作モードも表示されます。



モニターテレビ

VTR動作モード

ビデオヘッドクリーニング

本機には、自動的にヘッドの汚れを軽減するオートヘッドクリーニング機能が付いていますが、より信頼性を高めるために、適時ビデオヘッドを清掃することをお勧めいたします。

なお、具体的なクリーニング方法については販売会社にご相談ください。

結露

露つきが起こるのは、暖房された部屋の窓ガラス一面に水滴（露）がつくのと同一原理です。

本機やテープを温度・湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

- 湯気が立ちこもる湿度の多いところや、暖房した直後の部屋へ移動したとき。
- 冷房されているところから急に温度・湿度の高いところへ移動したとき。

このようなところへ移動したときは、すぐ電源を入れずに10分程度放置したままお待ちください。

もし、本機に結露が発生したときは、カウンター表示部に“E-20”が点滅表示し、カセットテープは自動的に排出されます。

そのまま、電源を入れた状態で“E-20”の点滅表示が消えるまでお待ちください。

お手入れについて

お手入れ前には、電源スイッチをOFFにし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。

キャビネットの清掃は、柔らかい布で行ってください。

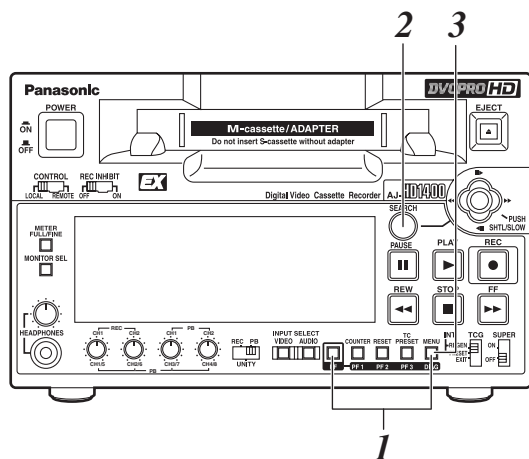
汚れのひどいときは、台所用洗剤をうすめ、布に浸して固く絞ってふきます。

汚れを拭き取ったのち、乾いた布で仕上げを行ってください。

<ノート>

アルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。外装部品表面が変色したり、塗装が落ちたりする原因になります。

エラーメッセージ



本機にワーニングが発生すると、カウンター表示部にエラー番号を表示します。

ダイアグメニューを開くとカウンター表示部、モニターテレビにその内容を表示します。また、本機の動作に異常が発生すると、カウンター表示部にエラー番号を点滅表示します。

ダイアグメニュー

VTRの情報を表示します。
VTRの情報にはワーニング情報、アワーメータ（使用時間）情報、UMID情報があります。
モニターテレビとリアパネルのVIDEO OUT 端子を接続している場合は、モニターテレビにダイアグメニューが出ます。

ダイアグメニューの表示

- 1 PFボタンを押しながらMENUボタンを押します。
モニターテレビにダイアグメニューの画面が表示され、カウンター表示部にメッセージがそれぞれ表示されます。
- 2 SEARCHボタンを押します。
押すごとに、「WARNING」→「HOURS METER」→「UMID INFO」→「DIF STATUS1」→「DIF STATUS2」と表示が切り替わります。
- 3 再度MENUボタンを押すと、もとの表示に戻ります。

アワーメータ情報の表示

サーチスティックを上下に動かすと、カーソル（*）が移動し、カーソルのある項目の内容をカウンター表示部に表示します。

NO.	項目	内容
Ser	*****	デッキのシリアルNo.を表示します。
H00	OPERATION	電源が投入されている時間を1時間単位で表示します。
H01	DRUM RUN	ドラムが回転している時間を1時間単位で表示します。
H02	TAPE RUN	FF、REW、PLAY、SEARCH（JOG、SLOW、SHTL）RECモード時（ただし、JOG、SLOW、SHTL STILLは除く）に、テープが走行している時間を1時間単位で表示します。
H03	THREADING	スレッティング（ローディング）/アンスレッティング（アンローディング）の回数を1回単位で表示します。
H04	F LOADING	フロントローディングの動作回数を1回単位で表示します。
H11	DRUM RUNr	ドラムが回転している時間を1時間単位で表示します。（リセット可能）
H12	TAPE RUNr	FF、REW、PLAY、SEARCH（JOG、SLOW、SHTL）RECモード時（ただし、JOG、SLOW、SHTL STILLは除く）に、テープが走行している時間を1時間単位で表示します。（リセット可能）
H13	THREADINGr	スレッティング（ローディング）/アンスレッティング（アンローディング）の回数を1回単位で表示します。（リセット可能）
H14	F LOADINGr	フロントローディングの動作回数を1回単位で表示します。（リセット可能）
H30	POWER ON	電源が投入された回数を1回単位で表示します。

<ノート>

- アワーメータ情報のリセット可能な項目は、メンテナンスを行った場合等に販売店によりリセットします。
- ダイアグメニュー表示中は、SEARCHボタンおよびサーチスティックによる操作はできなくなります。

エラーメッセージ (続き)

メニュー No.008 DISPLAY SELで「T&S&M」が選択されている場合、ワーニングまたはエラー発生時、モード表示部にメッセージを表示します。複数発生時は、優先順位の高いものが表示されます。

優先度	表示	内容
高い ↑ ↓ 低い	エラーメッセージ (エラーメッセージ表参照)	本機の動作に異常が発生すると、カウンター表示部にエラー番号を点滅表示し、エラーメッセージを表示します。
	INT SG	INPUT SELECT ボタンで入力信号にSGを選択している場合に、REC ボタンを押すと (EEモード)、開始2秒間表示されます。
	NO INPUT	アナログオーディオを除き、INPUT SELECT ボタンにより選択されている端子に入力信号がない場合に、REC ボタンを押すと (EEモード)、開始2秒間表示されます。
	ワーニングメッセージ (エラーメッセージ表参照)	本機にワーニングが発生すると、カウンター表示部にエラー番号を表示し、ワーニングメッセージを表示します。複数のワーニングが発生している場合は、優先順位の高いものを表示します。

UMID 情報の表示

EEモードのときは、入力信号にUMID情報が存在しているときに表示します。テープ再生時は、テープ上にUMID情報が記録されているときに表示します。UMID情報が存在しないときは、「NO-INFO」を表示します。

表示	内容
MATNO	素材番号
COPY	インスタンス番号 (コピー回数)
OWNER	国名、組織名、ユーザー名
POS	海拔、経度、緯度、記録時におけるGPS衛星からの受信状態 HOLD : GPS衛星からの信号を受信できない。 2D : 受信衛星数が少ない。海拔情報の精度が出ない。 3D : GPS衛星からの受信が良好。
DATE	日付
TIME	UTC (協定世界時 : Coordinated Universal Time) とUTCとの時間差

エラーメッセージ (続き)

ワーニング情報の表示

- ワーニング発生時は、ワーニングメッセージを表示します。
 - ワーニングが発生していない場合は、「NO WARNING」を表示します。
- 複数のワーニングが発生している場合は、サーチスティックを上下に動かすと各内容を確認することができます。

ワーニングメッセージ

優先度	モニター表示	内容	対処方法	VTRの動作
高い 	E-20 (DEW)	結露を検出した場合、エラー番号が点滅しEJECTモードへ移行します。EJECTモードではテープがEJECTされ、テープ操作ができません。 EJECT後、結露を除去するためにドラムが回転します。結露が解除されるとエラー表示が消え、VTRは使用可能となります。ただしメニュー No.152 HUMID OPEが「ON」のときは、操作が可能です。 ● EJECTモードで結露を検出すると、その時点でドラムが回転します。 ● カセットが挿入されているときに結露を検出すると、ドラムの回転を止め、EJECT後にドラムが回転します。	電源を入れた状態でお待ちください。	EJECT
	E-95 (INVALID EMBEDDED TC)	(メニュー No. 032 REC REFで「SLTC」を選択時) 記録する映像のフレームをHD SDI IN 端子に入力された信号のタイムコードに同期させるときに、タイムコードが1倍速で歩進していない場合に表示されます。	入力信号のタイムコード情報を確認してください。	動作継続
	E-92 (1394 INITIAL ERROR)	IEEE1394デジタルインターフェースの接続状態が不正規な場合に表示されます。	ケーブル接続がループになっていれば、1対1に接続しなおしてください。 ループ接続でない場合には、POWERスイッチをOFF→ONにしてください。	IEEE1394デジタルインターフェース入出力停止
	E-04 (UNKNOWN SIG)	IEEE1394デジタルインターフェースから入力された信号がDVCPRO/DVフォーマットではない場合に表示されます。	1394入力が正しく接続されていることを確認してください。	記録動作不可
	E-90 (NOT 1X 100M SIG)	IEEE1394デジタルインターフェースに入力されている信号が、DVCPRO HD (100 Mbps) フォーマットの1倍速転送速度ではないときに表示されます。	入力信号を確認してください。	動作継続*1
	E-16 (INVALID VIDEO SIG)	IEEE1394デジタルインターフェースから入力された圧縮ビデオ信号が不正規な場合に表示されます。 ● ワーニングは記録動作中のみ表示されます。この場合、テープへの記録は行われず、消去動作のみが行われます。	1394入力信号を確認してください。 記録されていないテープの再生信号が入力されている可能性があります。	動作継続*1
	E-17 (INVALID AUDIO SIG)	IEEE1394デジタルインターフェースから入力されたオーディオ信号が不正規な場合に表示されます。 ● ワーニングは記録動作中のみ表示されます。この場合、オーディオはミュート記録されます。	1394入力信号を確認してください。 1倍速再生以外のVTR等から信号が入力されている可能性があります。	動作継続*2
	E-18 (INVALID TC SIG)	IEEE1394デジタルインターフェースから入力されたタイムコード情報が不正規な場合に表示されます。 ● ワーニングは記録動作中のみ表示されます。この場合、内部発生されたタイムコードが記録されます。	入力している機器のタイムコードを確認してください。	動作継続*3
	E-14 (NO MATCH SIG)	IEEE1394デジタルインターフェースに入力されている信号が、本機で設定されているシステムフォーマットと異なるときに表示されます。	入力信号を確認してください。	動作継続*1
	E-10 (FAN STOP)	ファンモーターが停止した場合に表示します。 ● 停止した状態で約5分経過すると、自動的にPOWER OFFになります。	ファンに異物が入っていないか確認してください。	動作継続
	E-09 (NO RF)	再生時、テープのブランク部分を1秒以上検出した場合に表示します。 下記の条件を全て満たしたとき、ブランク部分として認識します。 ● 全てのヘッド出力がない。 ● 再生データが読み取れない。 ● CTLがない。(ただしDV/DVCAMテープを除く。)	テープを確認してください。 記録されていないテープが挿入されている可能性があります。	動作継続

- *1 エラー表示は、EEモードのときに常に表示されます。
この場合、映像信号としてブラック信号が記録され、音声信号はミュートされます。
- *2 エラー表示は、EEモードのときに常に表示されます。
この場合、音声信号はミュートされます。
- *3 エラー表示は、EEモードのときに常に表示されます。
この場合、タイムコード信号として本機の内部タイムコードジェネレーターのタイムコードが記録されます。

エラーメッセージ (続き)

ワーニングメッセージ (続き)

優先度	モニター表示	内 容	対処方法	VTRの動作
↓ 低い	E-00 (SERVO NOT LOCKED)	再生、記録時にサーボが3秒以上外れた場合に表示します。	テープを確認してください。	動作継続
	E-93 (INVALID TC MODE)	(23.98/24 Hz モード時) 再生時、タイムコードがDF モードで記録されている場合に表示されます。タイムコードのドロップポイントで映像出力が乱れ、音声出力はミュートされます。 VTR の動作は継続します。 バリアブルフレームレートカメラで収録されたテープを本機で再生する場合、タイムコードはNDF モードで記録されている必要があります。	バリアブルフレームレートカメラで収録されたオリジナルのテープを使用してください。	動作継続
	E-94 (TC SEQUENCE UNMATCH)	(23.98/24 Hz、25 Hz、50 Hz モード時) 再生時、アクティブフレーム情報とタイムコードの関係が正規でない場合に表示されます。映像出力が不均一(滑らかでない動き)になる場合があります。 VTR の動作は継続します。 バリアブルフレームレートカメラで収録されたテープにはアクティブフレーム(フレーム映像が切り替わった先頭フレーム)情報が記録されています。本機で再生する場合は、タイムコードの0 フレームがアクティブフレーム位置で検出される必要があります。	バリアブルフレームレートカメラで収録されたオリジナルのテープを使用してください。	動作継続
	E-01 (LOW RF)	再生、記録時にエンベレベルが通常の約1/3の状態を1秒以上検出した場合に表示します。	ビデオヘッドクリーニングを行ってください。	動作継続
	E-02 (HIGH ERROR RATE)	エラーレートが悪化し、ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に修整/補間がかかった場合に表示します。	ビデオヘッドクリーニングを行ってください。	動作継続

エラーメッセージ

モニター表示	内 容	対処方法	VTRの動作
E-29 FRONT LOAD MOTOR	EJECTモードに移行し6秒経過してもカセットアップしない場合、エラー番号が点滅します。 <ノート> カセット挿入後、6秒経過してもカセットダウンにならない場合、EJECTモードに移行します。	POWERスイッチをOFF→ONにしてください。	停止
E-31 LOADING MOTOR	アンローディング動作が6秒以内に完了しない場合、エラー番号が点滅します。 <ノート> ローディング動作が6秒以内に完了しない場合、EJECTモード(アンローディングモード)へ移行します。	POWERスイッチをOFF→ONにしてください。	停止
E-35 SERVO CONTROL ERROR	サーボマイコンからの応答が1秒以上ない場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF→ONにしてください。	停止
E-37 SERVO COMM ERROR	サーボマイコンが10秒経過しても、システムコントロールマイコンの指示に従わない場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF→ONにしてください。	停止
E-38 SERVO FG ERROR	本機の電源を入れたときに、EJECT状態で行うリールとキャプスタンの回転自動調整が正常に行われなかったとき。	POWERスイッチをOFF→ONにしてください。	停止
E-51 FRONT LOAD ERROR	ローディング途中(ハーフポジション)の始末端処理動作で、巻き取り側リールが一定時間空回りした場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF→ONにしてください。	停止
E-52 W-UP REEL NOT ROTA	カセット挿入後、テープ総量未検出状態でテープ走行中、テープ巻き取り側リールがテープを巻き取っていない場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF→ONにしてください。	停止
E-53 WINDUP ERROR	テープ総量検出後、テープ走行中、巻き取り側リールのテープ巻き取り量と、送り出し側リールのテープ送り出し量が、異常に異なった場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF→ONにしてください。	停止

エラーメッセージ (続き)

エラーメッセージ (続き)

モニター表示	内 容	対処方法	VTRの動作
E-55 UNLOAD ERROR	アンローディング時テープを巻き取らなかった場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF→ONにしてください。	停止
E-57 S-FF/REW TIMEOVER	始末端処理動作が終了しない場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF→ONにしてください。	停止
E-59 DRUM ROTA TOO SLOW	シリンダモータの回転数が異常に低い場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF→ONにしてください。	停止
E-60 DRUM ROTA TOO FAST	シリンダモータの回転数が異常に高い場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF→ONにしてください。	停止
E-61 CAP ROTA TOO SLOW	キャプスタンモータの回転数が異常に低い場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF→ONにしてください。	停止
E-64 S REEL ROTA TOO FAST	Sリールモータの回転数が異常に高い場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF→ONにしてください。	停止
E-67 T REEL ROTA TOO FAST	Tリールモータの回転数が異常に高い場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF→ONにしてください。	停止
E-69 T REEL TORQUE ERR	Tリールモータに異常トルクがかかっていることを検出した場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF→ONにしてください。	停止
E-70 S REEL TORQUE ERR	Sリールモータに異常トルクがかかっていることを検出した場合、もしくは、電流検出抵抗に異常電流が流れていることを検出した場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF→ONにしてください。	停止
E-71 CAP TENSION ERROR	キャプスタンモードでS側テンション異常を検出した場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF→ONにしてください。	停止
E-72 REEL TENSION ERROR	リールモードでS側テンション異常を検出した場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF→ONにしてください。	停止
E-73 REEL DIR UNMATCH	巻取り側のリールモータが逆転した場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF→ONにしてください。	停止
E-74 DRUM TORQUE ERROR	シリンダモータに異常トルクがかかっていることを検出した場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF→ONにしてください。	停止
E-78 M-IF COMM ERROR	メカニズム中継基板とサーボマイコンの通信に異常があった場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF→ONにしてください。	停止
E-bA BATTERY	入力DC電圧が、アンダーカット電圧以下になったときに表示されます。	DC電力を供給している機器の出力電圧をお確かめください。	停止

<ノート>

本機を再起動してもエラーメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

EMERGENCY イジェクト

緊急時に手でテープを取り出す手順

EJECT ボタンを押しても、カセットテープを取り出せないときは、下記の方法で取り出すことができます。

●必ず、本機の電源をOFFにした状態で行ってください。

- 1 トップパネルを外します。
- 2 赤いプラスチックギア (A) を、プラスドライバーで押し込みながら、反時計方向に回します。
このとき、同時にテープを巻き取る機構が働くためラッチ音がしますが、そのまま10回程度回します。

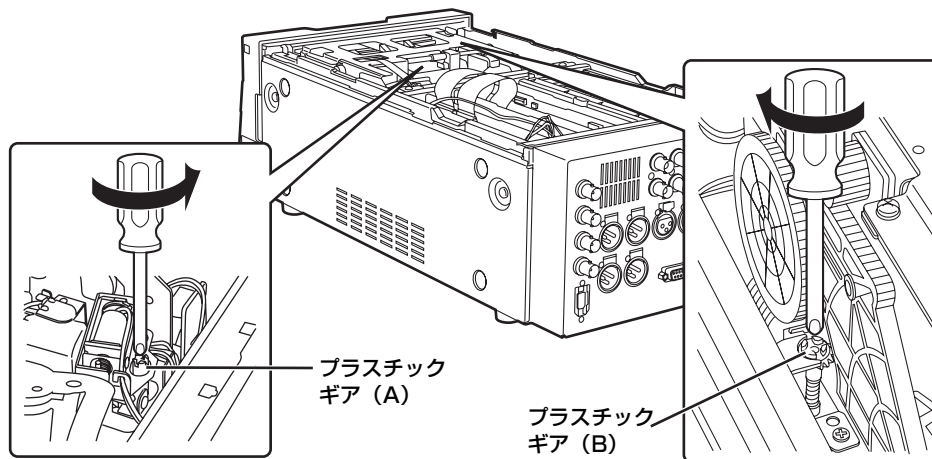
<ノート>

必要以上に回しすぎると、カセットテープに負担がかかり、テープダメージの原因になります。

- 3 各ポストがアンローディングし、テープが完全にカセットに収納されたことを確認します。
- 4 テープが完全にカセットケースの中に戻ったら、図のようにフロントローディングモーターのウォームギア前方にある赤いプラスチックギア (B) を、押し込みながら時計方向に回しカセットを取り出します。

<ノート>

カセットの蓋が閉じるときに、テープが噛み込まないように、注意してください。



保証とアフターサービス

故障・修理・お取扱い
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。
※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

●保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。
万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、下記部品は、保証期間内でも使用時間による保証となります。

- DVCPRO ビデオヘッド:1.000 時間
- 消耗・摩耗部品 :1.000 時間

*摩耗部品とは、

- ビデオヘッド
- ローター類
- ピンチローラー
- ヘッド類
- 各種ブレーキ
- その他メカ駆動系部品
- モーター

●補修用性能部品

当社では、デジタルHDビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●保守・点検

保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。

部品の劣化、ごみ、ホコリの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を推奨いたします。

保守・点検（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

◆保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書をご覧ください。

◆保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	デジタルHDビデオカセットレコーダー
品番	AJ-HD1400
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定 格

【総合】

電源 : AC 100-240 V、50 Hz/60 Hz、85 W
DC 12 V、5.3 A、64 W

は安全項目です。

動作周囲温度 :

+5 °C ~ +40 °C

保存温度 :

-20 °C ~ +60 °C

動作周囲湿度 :

10% ~ 80%以下 (結露なし)

外形寸法 (幅×高さ×奥行き) :

214 mm × 132 mm × 442 mm
(突起部含まず)

質量 :

8.5 kg

記録フォーマット :

DVCPRO HD-LP

記録ビデオ信号

1080i/59.94Hz、50Hz、
720p/59.94Hz、50Hz、60Hz (Varicam
のみ) 切り替え

記録オーディオ信号

48kHz、16bit、8ch

記録トラック

- デジタルビデオ/オーディオ :
ヘリカルトラック
- タイムコード :
ヘリカルトラック (サブコード領域)
- キュー信号 :
1 トラック
- コントロール (CTL) 信号 :
1 トラック

再生フォーマット

DVCPRO HD-LP/DVCPRO HD/
DVCPRO50/DVCPRO/DV-SP/DVCAM

記録テープスピード

67.640 mm/秒 (59.94Hz モード)
67.708 mm/秒 (50Hz/60Hz モード)

記録時間

64 分 (AJ-HP64ELG 使用時)

使用テープ

メタルテープ

FF/REW 時間

約 90 秒 (AJ-HP64ELG 使用時)

編集精度

± 0 フレーム
(タイムコード使用時、50Hz、59.94Hz、
60Hzモード時)

テープタイマー精度

± 2 フレーム (連続CTL 信号使用時)
(0.5倍速以下のスロー再生を行うと、CTLカウ
ントに誤差が生じることがあります)

【ビデオ】

■ デジタルビデオ

サンプリング周波数

Y : 74.25 MHz

P_B/P_R : 37.125 MHz

量子化

8bit

ビデオ圧縮方式

DCT + 可変長符号

ビデオ圧縮比率

1/6.7

エラー訂正

リードソロモンプロダクトコード

ビデオ記録ビットレート

100Mbps

■ ビデオ入力端子

HDシリアルデジタル入力

BNC × 1

(SMPTE292M/296M/299M規格に準拠)

リファレンス入力

ブラックバースト/HD3値SYNC自動切り替え
BNC × 1 (ループスルー × 1)、
75Ω 終端自動切り替え

■ ビデオ出力端子

HDシリアルデジタル出力

BNC × 2

(SMPTE292M/296M/299M規格に準拠)

(スーパー ON/OFF可能)

SDシリアルデジタル出力

BNC × 1

(SMPTE259M-C/272M-A、

ITU-R BT.656-4規格に準拠)

(スーパー ON/OFF可能)

アナログコンポジット出力

BNC × 1、

VIDEO1、VIDEO2(スーパー ON/OFF可能)

HDアナログコンポーネント出力

BNC × 3 (Y/P_B/P_R)(スーパー ON/OFF可能)

(VIDEO1とHDアナログコンポーネントY出力
は切り替えです)

■ビデオ出力調整範囲

- コンポーネントスタイル
HD/SD SDI、HDアナログコンポーネント、コンポジット出力のYゲイン
-∞ ~ + 3 dB
HD/SD SDI、HDアナログコンポーネント、コンポジット出力のP_Bゲイン
-∞ ~ + 3 dB
HD/SD SDI、HDアナログコンポーネント、コンポジット出力のP_Rゲイン
-∞ ~ + 3 dB
HD/SD SDI、HDアナログコンポーネント、コンポジット出力のYブラックレベル
± 10%
- コンポジットスタイル
HD/SD SDI、HDアナログコンポーネント、コンポジット出力のビデオゲイン
-∞ ~ + 6 dB
HD/SD SDI、HDアナログコンポーネント、コンポジット出力のクロマゲイン
-∞ ~ + 3 dB
HD/SD SDI、HDアナログコンポーネント、コンポジット出力のクロマ位相
± 30°
HD/SD SDI、HDアナログコンポーネント、コンポジット出力のセットアップ
± 10%
- システム位相
HDシリアルデジタル出力システム位相
1080i: ± 0.5 H (13.5 nsステップ)
59.94/60 Hz : ± 1100 Sample
50 Hz : ± 1320 Sample
23.98/24 Hz : ± 1375 Sample
720p: ± 0.5 H (13.5 nsステップ)
59.94/60 Hz : ± 825 Sample
50 Hz : ± 990 Sample
SDシリアルデジタル/コンポジットビデオ出力システム位相
± 0.5 H (37 nsステップ)
59.94 Hz : ± 858 Sample
50 Hz : ± 864 Sample
コンポジットビデオ出力SC位相
± 180 度以上

【オーディオ】

■デジタルオーディオ

- サンプリング周波数
48 kHz (ビデオに同期)
- 量子化
16 bit
- 周波数特性
20Hz ~ 20 kHz ± 1.0 dB (基準レベルにて)
- ダイナミックレンジ
85 dB以上
(1kHz、エンファシスOFF)
- 歪率
0.1%以下
(1 kHz、エンファシスOFF、基準レベル)
- クロストーク
- 80 dB 以下 (1 kHz、2チャンネル間)
- ワウ&フラッター
測定限界値以下
- ヘッドルーム
20dB

■オーディオ入力端子

- アナログ入力(CH1/CH2)
XLR × 2、600Ω/Highインピーダンス切り替え可能
+ 4/0/- 20dBm/- 60dBu 切り替え可能
- HDシリアルデジタル入力
BNC × 1
(SMPTE292M/296M/299M 規格に準拠)

■オーディオ出力端子

- アナログ出力(CH1/CH2)
XLR × 2、Lowインピーダンス、
+ 4/0/- 20 dBm切り替え可能
- HDシリアルデジタル出力
BNC × 2
(SMPTE292M/296M/299M規格に準拠)
- SDシリアルデジタル出力
BNC × 1 (SMPTE259M-C/272M-A/ITU-R BT.656-4規格に準拠)
- モニター出力(L/R)
 - XLR × 2、Lowインピーダンス、
+ 4/0/- 20 dBm切り替え可能
 - ピンジャック × 2
- ヘッドホン出力
ステレオミニジャック (3.5mm径) × 1、
8 Ω、レベル可変

定 格 (続き)

【その他の入出力端子】

タイムコード入力

BNC×1、0.5～8 Vp-p、10 kΩ

タイムコード出力

BNC×1、Low インピーダンス
2.0±0.5 Vp-p (600 Ω負荷時)

RS-422A入力

D-sub 9pin、RS-422A インターフェース

エンコーダリモート

D-sub 15ピン

DC電源出力

4 pin×1、DC 12 V、250 mA、AJ-A95用

1394入出力端子

コネクタ：6ピンタイプ

伝送速度：400 Mbps、200 Mbps、
100 Mbps 選択可能

伝送データ：

IEEE1394－1995 準拠

IEC61883－Part1、Part2 準拠

制御コマンド：

AV/C Command Set 準拠

【付属品】

電源コード (電安3芯)

電源用3P-2Pコネクタ

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

© Panasonic Corporation 2006

